はじめての青森
MY FIRST AOMORI

東北新幹線新青森開業キャンペーン

観光ガイドブック

2010年 2011年
12月1日~3月31日

あおもり紀行

青森
感じる。
近づく、

TOKYO

行くたび、あたらしい。
青 AOMORI 森
青森デスティネーションキャンペーン
2011.4.23~7.22

青森デスティネーションキャンペーン
マスコットキャラクター
「いくべぇ」®

八戸えんぶり

真鱈（たら）のじゃっぱ汁

酸ヶ湯温泉

2010年12月4日、東北新幹線新青森開業

駅から始まる物語

12月4日に、待ちに待った東北新幹線八戸・新青森間が開通し、「新青森駅」「七戸十和田駅」が開業。様々な観光地への新たなバス路線や列車も運行され、青森県の主要地へのアクセスがますます便利になります。また、魅力ある青森県の旅をいっそう快適に楽しめることになります。車窓の趣ある風景、降り立つ駅から巡る魅惑の街歩きや温泉、文化、土地の味覚。行くたび、あたらしい青森県を楽しむ「駅から始まる物語」。いろんな旅に出会えます。

マスコットキャラクター
「いくべぇ」®

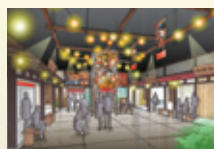
C O N T E N T S

※掲載されている情報は平成22年10月1日現在のものです。
※掲載されているイベント等の詳細については各お問い合わせ先までお願いいたします。なお、イベント内容や時間については天候などの様々な事情により変更・延期もしくは中止となる場合もございます

青森の旅の新たな拠点となる2つの新駅が誕生!

新青森駅

デザインイメージ 縄文と未来の融合

新青森駅のデザインコンセプトは『縄文から未来へ』。ほっとして郷愁が感じられる北の駅をめざしたテーマ性のある駅です。左右の外壁は、縄文時代の集落の佇まいを、中央部は青森の明るい未来を象徴する、「縄文」と「未来」の融合を表現しています。

あおもり観光情報センター

青森の旅を存分に楽しんでいただけるようお迎えします。

2Fコンコース

インテリアに県を代表する木のヒバやブナ、そして津軽塗などを使用しています。

高架下商業施設

1Fに青森の特産品や食を楽しめる商業施設がオープンします。

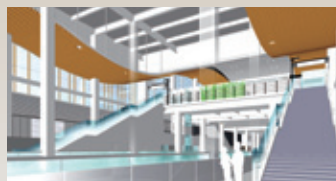
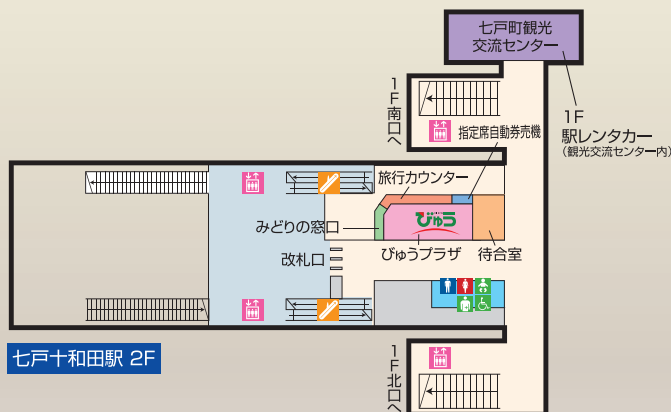
大版画「青い森から放つ」

新青森駅1階アトリウム内に、棟方志功生誕100年の記念事業として市民の方々により作成された大版画「青い森から放つ」を題材とした壁画が設置されています。

七戸十和田駅

デザインイメージ 八甲田を望む大地の息吹と歴史を感じさせる駅

七戸十和田駅のデザインコンセプトは『心安らぐ豊かな自然と歴史が感じられる駅』。外壁の曲線は八甲田連峰の山並みと、南部馬の背中を表現しています。八甲田の四季と大地の恵み、そして先人が築いた歴史あるふるさとの象徴となる駅です。国道にも近く、八甲田、下北、十和田湖へのアクセスが便利です。

七戸町観光交流センター
1F南口へ
指定席自動券売機
1F駅レンタカー(観光交流センター内)
旅行カウンター
みどりの窓口
びゅう
改札口
びゅうプラザ
待合室
七戸十和田駅 2F
1F北口へ

1Fホーム

屋根は全覆型となっており、雪害対策として軒先融雪方式を採用しています。

2Fコンコース

伝統の南部裂織や奥入瀬の自然を感じさせるデザインです。

コンコース正面南部裂織

コンコースには南部裂織で作られたタペストリーが飾られています。八甲田の雄大な山々をモチーフにした作品です。

鷹山宇一記念美術館

七戸町出身の洋画家、鷹山宇一の初期から晩年までの作品を収蔵する美術館。油彩や木版画、本人が収集したオイルランプなど、多彩な展示品を鑑賞できる。

営10:00~18:00(入館は17:30まで) 休月曜(祝日の場合は翌日)、12/30~1/2、特別展前後に展示替え休館有り。館内整備期間(1月下旬~2月上旬の2週間程度)
料一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
交JR七戸十和田駅より徒歩約5分 問0176-62-5858

しちのへ産直七彩館

道の駅しちのへの北側に隣接する、木造平屋造りの農産物直売施設。広々とした直売スペースや多目的室、そばもちや手打ちそばを実演販売する加工PRコーナーなどがある。

営9:00~18:00 休年末年始
交JR七戸十和田駅より徒歩約5分
問0176-62-5777

※掲載の情報は平成22年10月1日現在のものです。記載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。※使用している写真およびパースはイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。

2010年12月4日
青森がぐっと近くなる。
東北新幹線
東京—新青森開業!!

東京—新青森間［1日15往復］
最短3時間20分※

八戸—新青森間の開業により、
東京から青森までの移動時間が大幅に短縮になります。
乗り換えの必要もありません。

※上りの最短時間です。

新型高速新幹線車両（E5系）2011年3月、営業運転開始!!

東京—新青森間3時間10分程度

愛称名『はやぶさ』

鳥類の「ハヤブサ」をモチーフに、
E5系の先進性とスピード感を表現しています。

2012年度末の国内最高速320km/h走行へ向けて、
最先端の技術を結集。
「環境性能の向上」
「走行性能の向上と信頼性の確保」
「快適性の向上」をめざす新型の新幹線です。

〈シンボルマーク〉

［グランクラス（Gran Class］
特別な旅のひとときをあなたに　ーExclusive Dreamー　フランス語で「大きな」という意味を表す「Gran」と英語の「Class」を組み合わせた造語。質感の高い素材や居心地のよい照明により、上質で洗練された空間を創出します。広いシートピッチと3列座席配置により、ゆとりある快適な座り心地を実現します。
※E5系量産先行車にはグランクラスは設定されていません。

※写真はE5系量産先行車です。※E5系は2011年春の導入を予定しています。本パンフレットには、「はやぶさ」利用の旅行商品は掲載しておりません。予めご了承ください。

駅から始まる物語

青森駅より巡る新名所・特別イベント

青森駅前が変わる もてなしのイベント多彩

ねぶたがつなぐ、街・人・こころ 青森市文化観光交流施設「ねぶたの家 ワ・ラッセ」オープン

1月5日、「ねぶたの家　ワ・ラッセ」が青森駅海手にオープン！祭本番に出陣し受賞したねぶたを中心に5台の大型ねぶたを展示する「ねぶたホール」、ねぶたの起源や、過去から現在に至る祭の歩みを豊富な資料とともに紹介する「歴史ゾーン」など、ねぶた祭の魅力を余すことなく伝えます。

- 1月5日オープン
- 料金／一般600円（ねぶたホール・歴史ゾーン）
- 交通／青森駅より徒歩約1分
- 問／☎017-723-7211
- HP／www.nebuta.jp/warasse/

一路青森。新幹線開業イベント

東北新幹線新青森駅開業の日から約１ヶ月間、新青森駅周辺において、青森の安全･安心な農林水産物の直売市を開催。また、ご当地グルメコーナーも設けます。開業日である12月4日は、スペシャルパレードとしてミッキーマウスを始めディズニーの仲間たちが参加するパレードも開催。

- 期間／12月4日～翌1月10日
- 開館／10:00～18:00（12月4日 6:00～20:00）
- 問／新幹線新青森駅開業対策事業実行委員会事務局☎017-734-2328

「ねぶたの家 ワ・ラッセ」外観イメージ

東北新幹線新青森駅から イベントで賑わう青森駅へ。

●青森市 ●平内町 ●蓬田村 ●外ヶ浜町 ●今別町

青森市観光ガイドタクシー

お迎えからお見送りまでの時間を楽しく。楽しい旅の思い出づくりを「認定乗務員」がお手伝い。

■詳しくは49ページ参照
■問／青森市タクシー協会 ☎017-781-4015
■HP／www.atca.info/guidetaxi/

観光スポットや周辺市街地を循環 あおもりシャトルdeルートバス「ねぶたん号」

新青森駅を起点（開業前は現青森駅）とした循環ルート（17便・所要時間約90分）と、新青森駅（開業前は現青森駅）とフェリー乗り場を結ぶルート（9便・所要時間約20分）があります。

■詳しくは50ページ参照
■問／青森観光バス☎017-739-9384
■HP／www.aomori-kanko-bus.co.jp/

手ぶらで観光・手荷物直行便

青森駅前観光案内所から宿泊施設へ手荷物を配達。ゆっくりと観光を楽しみ宿泊先で手荷物を受け取り。

■詳しくは49ページ参照
■問／青森観光コンベンション協会 ☎017-723-7211

青森の魅力を体感ベイエリア

青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸
青森県観光物産館アスパム
A-FACTORY
ねぶたの家「ワ・ラッセ」
青森駅
青森市観光交流情報センター

「ワ・ラッセ」「八甲田丸」「アスパム」ベイエリア3館共通券

ねぶた、青函連絡船、りんごなど、青森の魅力がぎっしりと詰まったベイエリアは青森に来たら一度は訪れてほしい観光スポット。このベイエリアにある「ねぶたの家ワ・ラッセ」「青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸」「青森県観光物産館アスパム」の有料コーナーを超お得な料金でお楽しみいただけます。

■期間／1月5日～
■料金／大人1,300円、高900円、中700円、小500円
■青森県観光連盟☎017-735-5311
■HP／www.aomori-kanko.or.jp/

「A-FACTORY」外観イメージ

青森駅前から全国へ発信
新名所「A-FACTORY」

青森駅近くに「工房」と「市場」が誕生。日本一の生産量を誇る青森県産りんごがシードル、アップルブランデー、リキュール、ジュース等の飲料に加工される様子を見学・購入できます。また、地場食材を購入できる市場のほか青森県産の食材を味わえる飲食ゾーンも併設。

■開館／12月4日
■交通／青森駅より徒歩約2分
■問／JR 東日本青森商業開発
☎017-752-1890

目からウロコの再発見
あおもり街てく

まちなか観光スポットをめぐる散策コースを、「青森市民観光ボランティア」がご案内します。(事前に要申込)

■期間／毎週金・土・日曜及び休祝日
※実施日以外については要相談
■所要時間／90分～ 135分
■交通／青森駅より徒歩約1分
■問／青森市観光交流情報センター
☎017-723-4670

「冬ねぶた」と雪見屋台を愉しむ
新・あおもりの冬まつり

青森の冬の味覚を地酒とともに愉しめる雪見屋台街で舌鼓。金魚ねぶたや雪山が冬の青森を照らし、勇壮な「冬ねぶた」2台が中心街に出陣します。

■期日／2月10日～12日
雪見屋台街　16:00～21:00
冬ねぶた運行　19:00～20:00
■場所／青森市中心商店街、青森駅前公園
■問／青森市新幹線開業対策課
☎017-734-2319

冬ねぶたイメージ

青函連絡船メモリアルシップ
八甲田丸

昭和63年の青函連絡船廃止まで活躍した、八甲田丸の船体をそのまま活かした日本初の鉄道連絡船ミュージアム。海峡をつなぎ人々の物資の往来を支え続けてきた鉄道連絡船の歩みを伝える遺産群のひとつとして、平成21年に経済産業省より「近代化産業遺産」に認定されています。就航当時の面影を残す操舵室やエンジンルームなど見所もたくさん。
※東北新幹線新青森開業オープニングイベント(12月4日 14:00～16:00)
※八甲田丸2011年カウントダウンイベント(12月31日・1月1日)、八甲田丸ファン感謝デー(1月8日～1月10日予定)

■開館／ 9:00～17:00(11月～3月)
■休館／ 12月31日・1月1日、3月第2週の月～金曜(11月～は月曜定休。祝日の場合は翌日)
■料金／一般500円
■交通／青森駅より徒歩5分
■問／☎017-735-8150
■HP／www7.ocn.ne.jp/~hakkouda/

八甲田丸とベイブリッジ

青森県観光情報の発信地
「アスパム」開催イベント

新幹線新青森駅開業に伴い、様々なイベントを開催。青森の魅力が集合します。

パノラマ映画新作上映

アスパム2階青い森ホールで上映している360度の全周映像のパノラマ映画が全面リニューアル。青森県の5大まつりの見どころを余すことなく紹介。また、イヤホンレシーバーによる3ヶ国語（英語・中国語・韓国語)の音声紹介も行っています。

■期間／12月1日～
■休館／12月31日、1月第4週の月曜～水曜
■上映回数／ 1日8回(約20分)
■料金／ 600円
■交通／青森駅より徒歩約10分

あおもり光のファンタジー

アスパム正面壁面に季節やイベントごとのイメージを表現するライトショー。

■期間／11月5日～
■時間／18:00～、19:00～、20:00～、21:00～(予定)

■青森県観光連盟☎017-735-5311
■HP／www.aomori-kanko.or.jp/

龍飛崎
青森市
浪岡
浅虫温泉
八甲田山

魚介の宝庫、青森市
市場、寿司、珍味で愉しむ

ホテルおすすめ店で味わう 寿司クーポン

地元ホテルスタッフおすすめ！青森市内のお寿司屋さん（利用店限定）で使える定額食事券「あおもり寿司クーポン」。

①出発地で買えるお得に味わう3,000円

JR東日本びゅうプラザで購入でき、にぎり中心のメニューをご用意。

②青森市内で買える、おいしさ満喫5,000円

青森市内の販売所（ホテルのフロントや観光案内所など）で購入でき、にぎりの他に一品料理などのメニューも楽しめます。クーポン購入時に販売所のスタッフが寿司店に予約いたします。

■問／青森商工会議所☎017-734-1311
■HP／www.acci.or.jp/sushi/

のっけ丼の一例

青森の新名物
古川市場「のっけ丼」

「古川市場」は青森市民の台所として、昭和40年代から賑ってきた"旬の食材"の宝庫。昭和の懐かしさと活気を感じさせる市場では、どんぶりご飯に刺身や惣菜、お肉など、お好みの具材をのせていただく「のっけ丼」が好評。その日のオススメや地元ならではの食材で自分だけのオリジナルどんぶりを楽しめます。「のっけ丼クーポン」（100円券×10枚、白神の水またはミネラルウォーター）も発行。※のっけ丼参加店は目印の旗を掲げています。

■時間／7:00～17:00
■休館／火曜、1月1日・2日
■場所／青森魚菜センター
■交通／青森駅より徒歩約5分
■問／青森商工会議所☎017-734-1311
■HP／www.acci.or.jp/nokkedon/

冬の新しい名物
ホットアップルサイダー

しぼりたてのリンゴ果汁を温めて味わう「ホットアップルサイダー」。サイダーとは炭酸飲料ではなく、「リンゴジュース」などを意味する英単語。果汁はもぎたてのリンゴ数品種をブレンドし、添加物は一切使わず、深みのある甘い味わい。ティーカップでおしゃれに飲むのがお薦め。

■問／パサパ青森・地域社会づくり研究会
担当：塚本☎0172-69-1770

七子八珍の一例

これを食べずに青森は語れない
七子八珍食べある記キャンペーン

青森近海でとれる海の幸34種の魚介類を総称した「七子八珍」。寒さの厳しい季節にはその多くが旬を迎えます。七子八珍の会会員店でお食事をし、アンケートに答えて応募すると、毎月抽選で青森の特産品や参加店の食事券が当たります。

■期間／12月1日～翌2月28日
■問／七子八珍の会☎017-723-7211
■HP／www.atca.info/nanakohacchin/

ホットアップルサイダー

味噌カレー牛乳ラーメン

青森市民のソウルフード
味噌カレー牛乳ラーメン

もともと札幌市のラーメン横丁で人気のラーメン店を開いた店主が、昭和43年に青森市に開業し、40年代中頃に味噌、塩、醤油ベースに、カレーか牛乳を組み合わせたものを出してみると、これが人気の商品に。昭和50年代頃、いろいろな組み合わせでラーメンを食べるのが流行し、その最終形として「味噌カレー牛乳ラーメン」が誕生。味噌のコクとカレーの刺激、牛乳のまろやかさにバターの風味が一体となった独特のおいしさです。

■問／青森味噌カレー牛乳ラーメン普及協会☎090-4040-4794
■HP／www.misokare-gyu.com/modules/tinyd0/

生姜味噌おでんの一例

さんふり横丁

青森の味をギュッと濃縮
さんふり横丁

昭和30年代の雰囲気を再現した「青森屋台村さんふり横丁」。個性的な店が集まる屋台村で新鮮な魚介類、青森B級グルメ、地酒、方言など青森の魅力を堪能。3店舗まわったお客様に飲み物１杯サービスするスタンプラリーも開催中（～3月末）。

■交通／青森駅より徒歩約25分
■問／☎017-745-4242
■HP／www.aomori-yataimura.com

青函連絡船から生まれた温もりの味
生姜味噌おでん

青森生姜味噌おでんは戦後、青森駅周辺に出来た屋台（闇市）で提供された「おでん」に由来すると言われています。冬の厳しい寒さの中、青函連絡船の乗船客を少しでも暖めようと、ある屋台のおかみさんが味噌に生姜をすりおろして入れたのが始まり。各店それぞれの青森生姜味噌おでんの味があります。

■問／青森おでんの会☎017-775-3001
■HP／www.acci.or.jp/oden/

駅から始まる物語
新青森駅より巡る文化体験

日本有数の縄文遺跡、文化施設を巡る

古代のロマンあふれる
三内丸山遺跡・縄文時遊館

三内丸山遺跡は、縄文時代前期から中期の遺跡で、日本最大級の規模を誇るものです。平成12年11月に国の特別史跡に指定されました。板状土偶や巨大木柱、平織り、うるし塗り等高度な技術を要する出土品が発見されています。また「縄文の丘三内まほろばパーク縄文時遊館」では、出土品の展示や、発掘の記録映像の上映、土器の復元作業の見学などができます。
■開館／9:00～17:00
■休館／12月30日～1月1日
■交通／新青森駅よりバス約7分
■問／☎017-766-8282
■HP／sannaimaruyama.pref.aomori.jp

三内丸山遺跡より発掘された国内最大級の大型板状土偶

三内丸山応援隊

三内丸山遺跡をガイドの解説を聞きながら見学。縄文時遊館体験工房での体験学習指導等も行っています。
※10名以上の団体でガイド希望の方は1週間前、各種体験については2週間前までに要予約。各種体験の120分メニューについては、少人数でも要予約。
■休館／年末年始
■問／☎017-783-3339

三内丸山遺跡・縄文時遊館内

伝統の次なる息づかい
青森のわざ・伝統工芸のいま

青森県の伝統を踏襲し、その技術を現代へ活かして活躍している県内在住の伝統工芸作家約50名の作品を集め、青森県の伝統工芸の魅力を再発見する特別展です。「陶芸」「染織」「木竹工」「人形・玩具」「漆芸」「金工」「諸工芸」の7つのジャンルに分け、作品を紹介します。
■期間／12月11日～翌2月20日
■開館／9:00～17:00
■料金／一般310円(12月)、250円(1～2月)
■休館／1月31日
■場所／青森県立郷土館
■交通／青森駅より徒歩約25分
■問／☎017-777-1585
■HP／www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/kyodokan.html

豊かな自然に育まれた美しさ
宙吹きガラス製作体験

宙吹きという技法で、グラスなどのガラス作りを体験できます。職人がマンツーマンで指導するので初めての方、お子様でも体験可能。世界に一つだけのガラスを作ってみては。※製作したガラスを除冷するため、お渡しは翌日以降(営業日)となります。発送(送料別途)もできます。
■開館／8:00～11:00、13:00～16:00
■休館／日曜・祝日、第4土曜日、年末年始
■料金／一般3,675円(要予約)
■交通／青森駅西口より車約10分
■問／北洋硝子☎017-782-5183
■HP／www.tugaru-vidro.co.jp/

青森市森林博物館

自然と人間生活の関わりを学ぶ
青森市森林博物館

自然や森林と人間生活のかかわりや、林業知識の普及向上のために、昭和57年に開館した日本初の森と木を考える博物館。明治41年、旧青森営林局庁舎として、青森県産ヒバで造られたルネッサンス様式の建物は映画「八甲田山」のロケにも使用されるなど、映画や写真にもしばしば登場するほどおしゃれ。
■開館／9:00～16:30
■休館／月曜(祝日の場合翌日)、年末年始
■料金／一般240円
■交通／新青森駅よりバス約15分
■問／☎017-766-7800

北洋硝子・ガラス製作体験

青森県立美術館・あおもり犬

多彩な企画展も好評
青森県立美術館

青森県の芸術と郷土文化を紹介する美術館。シャガールの舞台背景画を展示するアレコホールは圧巻です。
■開館／9:30～17:00(10～5月)
■休館／第2・4月曜(祝日の場合翌日)、12月27日～31日
■交通／新青森駅よりバス約7分
■問／☎017-783-3000
■HP／www.aomori-museum.jp

青森県立美術館・予定イベント

「冬のコレクション展（2010.12 東北新幹線全線開業記念コレクション展)」12月4日～3月21日、「魂の故郷・芸術の青森展(仮)」1月22日～3月21日、「Aleko2010 ダンサー・俳優・演奏家による」3月4日～6日

三内丸山遺跡・復元された大型掘立柱建物

文人に思いをはせる
青森県近代文学館常設展

明治以降の文学に影響を与えた、佐藤紅緑、石坂洋次郎、太宰治、寺山修治など青森県を代表する13人の作家を中心に、その生涯と作品を紹介。自筆原稿やノート、日記など、ここでしか見られない肉筆資料も多数展示。
■開館／9:00～17:00
■休館／第4木曜日、年末年始、蔵書点検期間
■交通／新青森駅よりバス約20分
■問／☎017-739-2575
■HP／www.plib.net.pref.aomori.jp/top/museum/

青森県近代文学館・常設展示室

龍飛崎
青森市
浪岡
浅虫温泉
八甲田山

道の駅浅虫温泉・展望風呂

駅から始まる物語

浅虫温泉駅より巡る食と体験

青森の奥座敷 浅虫温泉郷

浅虫を遊ぶなら
浅虫温泉まるごと体験クーポン

1,800円で2,000円分（500円券×4枚綴）が楽しめるお得なクーポン券で、金魚ネブタ製作や釣りなどの体験メニューが楽しめます。

【対象メニュー】（通年のみを紹介）
●金魚ネブタ製作体験（1,000円、11:00〜15:00）●浅虫水族館「さあ、海の世界に触れて見て…」（1,000円）●浅虫温泉スイーツ巡り（500円、11:00〜15:00）●京ちゃん工房（布ぞうり体験2,000円、わら細工300円、金魚ネブタ1,000円、9:00〜17:00前日要予約）

■期間／12月4日〜翌12月25日
■問／浅虫温泉旅館組合
☎017-752-3259
■HP／www.asamushi.com/

温泉で味わう
浅虫温泉スイーツめぐり

浅虫温泉の9つの宿では、県産品を使った"とっておきスイーツ"をワンコインで提供。それぞれの宿自慢のスイーツを味わってください。

■期間／12月4日〜翌12月25日
■開館／11:00〜15:00
■料金／500円（ドリンク付）
■問／浅虫温泉旅館組合☎017-752-3259

県産食材を使用したこだわりの味。
味自慢　青森の郷土食

一番人気は八戸産のいかだけを使用したやわらかい生干しいかや。津軽海峡でとれたうすい昆布でつくる若生こんぶおにぎりは天然の塩味と磯の香が食欲をそそります。

■交通／JR浅虫温泉駅より徒歩1〜2分
■場所／道の駅ゆ〜さ浅虫
■問／☎017-737-5151
■HP／wwww.yu-sa.jp

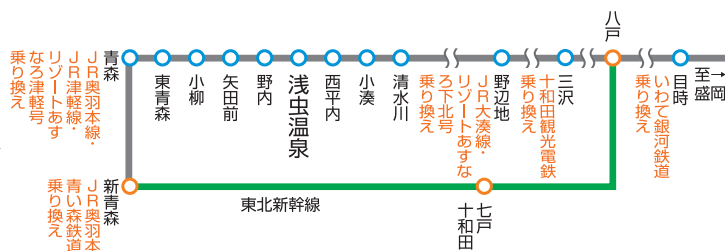
若生おにぎり

浪岡産愛情林檎パイ

カシスゼリー

ごぼうのムース

林檎の微笑みプリン

青森　JR奥羽本線・JR津軽線・リゾートあすなろ津軽号乗り換え
東青森
小柳
矢田前
野内
浅虫温泉
西平内
小湊
清水川
野辺地　JR大湊線・リゾートあすなろ下北号乗り換え
三沢　十和田観光電鉄乗り換え
八戸
目時　いわて銀河鉄道乗り換え
至→盛岡
新青森　JR奥羽本線・青い森鉄道乗り換え
七戸十和田
東北新幹線

青い森鉄道
2010.12.4.青い森鉄道開業

JR東日本から分離する青森〜八戸間の並行在来線は「青い森鉄道」に生まれ変わります。そして、新たに青森〜目時（めとき）間121.9kmを結ぶ「わ」の鉄道としてスタート。「わ」は青森県の方言で、"私"や"調和""和み"、地域とともに歩む"輪"を表しています。

■問／青い森鉄道☎0178-21-3131
■HP／www.aoimorirailway.com/

開業記念切符限定販売！！！
煎餅きっぷ・ひばきっぷ

青い森鉄道では、青森延伸開業を記念して、煎餅きっぷ・ひばきっぷを数量限定で販売。せんべい汁で有名な南部せんべいを使用した煎餅きっぷは、「モーリー」が印刷された日本初の食べられる切符。もちろん食べたら無効ですので、ご注意ください。日本三大美林のひとつ、青森ひばを使用したひばきっぷは、森の香り漂う切符。どちらも、12月4日・5日の2日間有効のお買い得な全線フリー切符。開業日に青い森鉄道の主要駅にて販売予定。

モーリーが青森を走る!?
モーリーのラッピング電車

青い森鉄道のイメージキャラクター「モーリー」が青い森鉄道のラッピング電車に登場!!モーリーのラッピング電車に乗って、楽しい旅行を満喫。

駅から始まる物語

青森駅よりJRバスで雪の楽園へ

八甲田山で樹氷モンスターと戯れる

雪と遊び、自然と交じり合う アウトドアアクティビティツアー

5月中旬まではバックカントリースキー、バックカントリースノーボードのツアーなどを実施しています。（料金要問合）

■問／八甲田山ガイドクラブ ☎017-728-1511

■HP／www.hakkoda-sanso.com/

八甲田山スノーシュー体験

ロープウェー山麓駅から山頂駅へ。スノーシューを装着して厳寒の八甲田を体験。静寂の世界の中で木々の冬芽を発見、雪原には動物の足跡が多数あり、運がよければかもしかにあえるかも？付近の樹氷原散策や3時間ほどのトレッキング、2日･3日のスノーハイキングと、メニューはいろいろ。

八甲田山･田茂萢岳 スノーシュートレッキング

スノーシューを装着して、約30～40分程度散策。（3日前要予約）

■時間／10:00 ～ 11:00、13:00～14:00

■料金／1,000円（スノーシュー、ポール、ブーツのレンタル料含む）

■交通／ JR青森駅よりバス約60分

■問／八甲田ロープウェー☎017-783-0343

■HP／www.hakkoda-ropeway.jp

氷点下の厳寒を体験 スノーウォーキング体験

ガイドがその日の最適なコースにご案内します。 ※当日11:00までにフロントへ要申込。 スキーウェアに準ずる防寒着、帽子、手袋は要持参。

■時間／13:00～13:50

■問／酸ヶ湯温泉☎017-738-6400

■HP／www.sukayu.jp

約10分で樹氷の楽園へ 八甲田ロープウェー

標高1,324mの八甲田山田茂萢岳山頂までの2,459mを約10分で結ぶ八甲田ロープウェー。岩木山･むつ湾など360度の展望や樹氷を間近に見ながら大自然を体感。

■運行時間／9:00～15:40（11月中旬～翌2月）9:00～16:20（3月～）

■料金／往復:一般1,800円、片道:一般1,150円

■交通／ JR青森駅よりバス約60分

■問／八甲田ロープウェー☎017-783-0343

■HP／www.hakkoda-ropeway.jp

一軒宿が点在、八甲田山中の温泉

ホテルヴィラシティ雲谷

ホテル城ヶ倉

酸ヶ湯

八甲田ホテル

青森の屋根、雪の大回廊を歩く “雪の回廊と温泉”ウォーク

冬季間通行止めとなる八甲田の酸ヶ湯～谷地区間が一般開通する4月1日の前に、除雪したての高さ最高9mにもおよぶ雪の大回廊8kmを歩く春の風物詩イベント。ゴール地点では青森県産のホタテ稚貝が入った鍋物サービスもあり、ウォーク終了後には秘湯も楽しめます。

■期間／3月29日～3月31日（約14日前までに要予約）

■時間／ 8:00～17:00（要問合）

■料金／一般3,900円

■集合／アスパム（青森駅より徒歩10分）

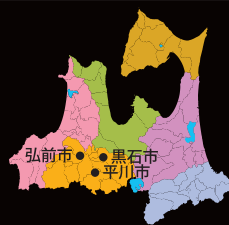
■場所／酸ヶ湯～谷地区間

■問／青森観光コンベンション協会 ☎017-723-7211

■HP／www.atca.info/goldline/

弘前・南津軽エリア

歴史といで湯のまち、南津軽を巡る

●弘前市 ●黒石市 ●平川市 ●西目屋村
●藤崎町 ●大鰐町

駅から始まる物語

弘前駅より巡る雪の旅情

雪と明かりの街 津軽ひろさき冬の旅

弘前雪明かり
訪れた人の数だけ明かりがともる

弘前公園北の郭をメイン会場に、木が光で彩られ、雪のオブジェにキャンドルが灯されます。吉野町緑地会場では、奈良美智のメモリアルドックの周囲に市民手作りの「ちいさなわんこ」が並び、キャンドルと共に広場を飾ります。訪れた人の灯したキャンドルが会場を彩ります。

■期間／2月10日～13日（予定）
■時間／日没～21:00
■場所／弘前公園北の郭、吉野町緑地、蓬莱広場（予定）
■問／弘前市立観光館☎0172-37-5501
■HP／www.hirosaki.co.jp

弘前雪明かり（吉野町緑地）

弘前雪明かり（吉野町緑地）

弘前雪明かり（弘前公園・北の郭）

エレクトリカル・ファンタジー（昇天教会）

下:五重塔／右:追手門広場

駅から始まる物語

弘前駅より巡る歴史の街

弘前藩の文化が残る レトロモダンを街歩き

街が光に包まれる エレクトリカル・ファンタジー

弘前公園周辺の洋風・和風建築物がライトアップされ、街路がイルミネーションで彩られます。期間中、オールナイト点灯(12/24・25、12/31〜1/3、2/14)もあります。

■期間／12月1日〜翌2月28日
■時間／日没〜22:00
■場所／追手門広場他、弘前公園周辺
■交通／弘前駅よりバス約15分
■問／弘前市立観光館
☎0172-37-5501
■HP／www.hirosaki.co.jp/

津軽三味線酒場ライブ

曹洞宗(禅宗)33の寺院が立ち並ぶ

禅林街

禅林33ヶ寺と呼ばれる「禅林街」。「黒門」を抜けると左右に寺院が立ち並び、その奥に長勝寺があります。寺院街のたたずまいは「東北の小京都」の風情を漂わせます。■交通／ JR弘前駅より車約10分

津軽三味線体験

魂の音色を奏でる

津軽三味線演奏体験

津軽の厳しい風土で育まれた、激しくも繊細な津軽三味線の音色を奏でてみませんか。津軽三味線の構え方からバチの持ち方、音の出し方を体験できます。

■開館／ 9:00〜16:00
■休館／年末年始
■料金／ 1,400円
■場所／津軽藩ねぷた村
■交通／弘前駅よりバス約15分
■問／☎0172-39-1511
■HP／www.neputamura.com

古都の冬を楽しむ

津軽ひろさき冬の旅

雪燈籠まつりをメインに、郷土料理を楽しみながらの津軽三味線酒場ライブや市内文化財のライトアップ、イルミネーションなど、古都ひろさきの冬を満喫できるイベントがいっぱい。

■期間／12月1日〜翌2月28日
■場所／弘前市内
■問／弘前市立観光館☎0172-37-5501
■HP／www.hirosaki.co.jp/

詩情豊かな古城と老松が幻想的

第35回弘前城雪燈籠まつり

弘前公園四の丸をメイン会場として、地元自衛隊制作の大雪像や市民手作りの雪燈籠などが公園内を彩ります。日没から21時まで、ライトアップも行われます。

■期間／2月10日〜13日
■交通／弘前駅よりバス約15分
■問／弘前市立観光館☎0172-37-5501
■HP／www.hirosaki.co.jp/

Hiroshima Castle 400th Anniversary

弘前城築城400年祭

プレイベント：平成22年4月～平成22年12月／弘前城築城400年祭：平成23年1月～平成23年12月

弘前城は、藩祖為信公により計画され、二代藩主信枚公により慶長16年（１６１１年）に完成しました。以来、弘前市は、津軽地域の政治・経済・文化の中心都市として発展し、来る平成23年（２０１１年）には築城４００年の節目を迎えます。

弘前城の築城は、現在の弘前のまちなみ形成の礎です。築城４００年の機会は、先人の歩みを振り返りながら新たな未来へ踏み出す第一歩。「私四百 恋へよ津軽」のキャッチフレーズのもと、平成23年の1年間、弘前公園はもとより市内各地で「弘前城築城４００年祭」が実施されます。

平成22年は、23年の「弘前城築城４００年祭」の本番に向けて、数々のプレイベントも開催されています。

HIROSAKI 400 2011 私四百 恋へよ津軽

マスコットキャラクター「たか丸くん」

主なプレイベント（2010年実施）
※2010.9月現在（他のイベント等の詳細は公式HPでご確認下さい）

津軽に眠る名宝展

江戸時代を通じ、弘前は津軽氏の城下として栄えてきました。今に伝えられた文化遺産、特に絵画資料を中心に展示公開し、当地方の文化の奥深さを紹介します。

■期日／ 11月27日～翌1月30日
■場所／弘前市立博物館
■問／弘前市立博物館☎0172-35-0700

新井晴峰　観桜観楓図屏風より

ひと足お先の映画祭

12月4日の東北新幹線全線開業にあわせ、「鉄道をテーマとした映画祭」を400年祭プレイベントとして開催。「いこかもどろか」「新幹線大爆破」「プラットホーム」など9作品を上映予定。

■期日／ 12月3日～ 5日
■場所／ワーナーマイカルシネマズ弘前（12/3）、弘前中三スペースアストロ（12/4 ～ 5）
■問／NPO harappa☎0172-31-0195

映画「プラットホーム」

The津軽三味線2010

津軽三味線300人大合奏をメインに、民謡や手踊りとの共演なども織り込みながら繰り広げられる魅力満載のステージです。地元ならではの迫力と感動を心ゆくまでご堪能ください。

■期日／ 12月11日
■場所／弘前市民会館
■問／弘前商工会議所☎0172-33-4111

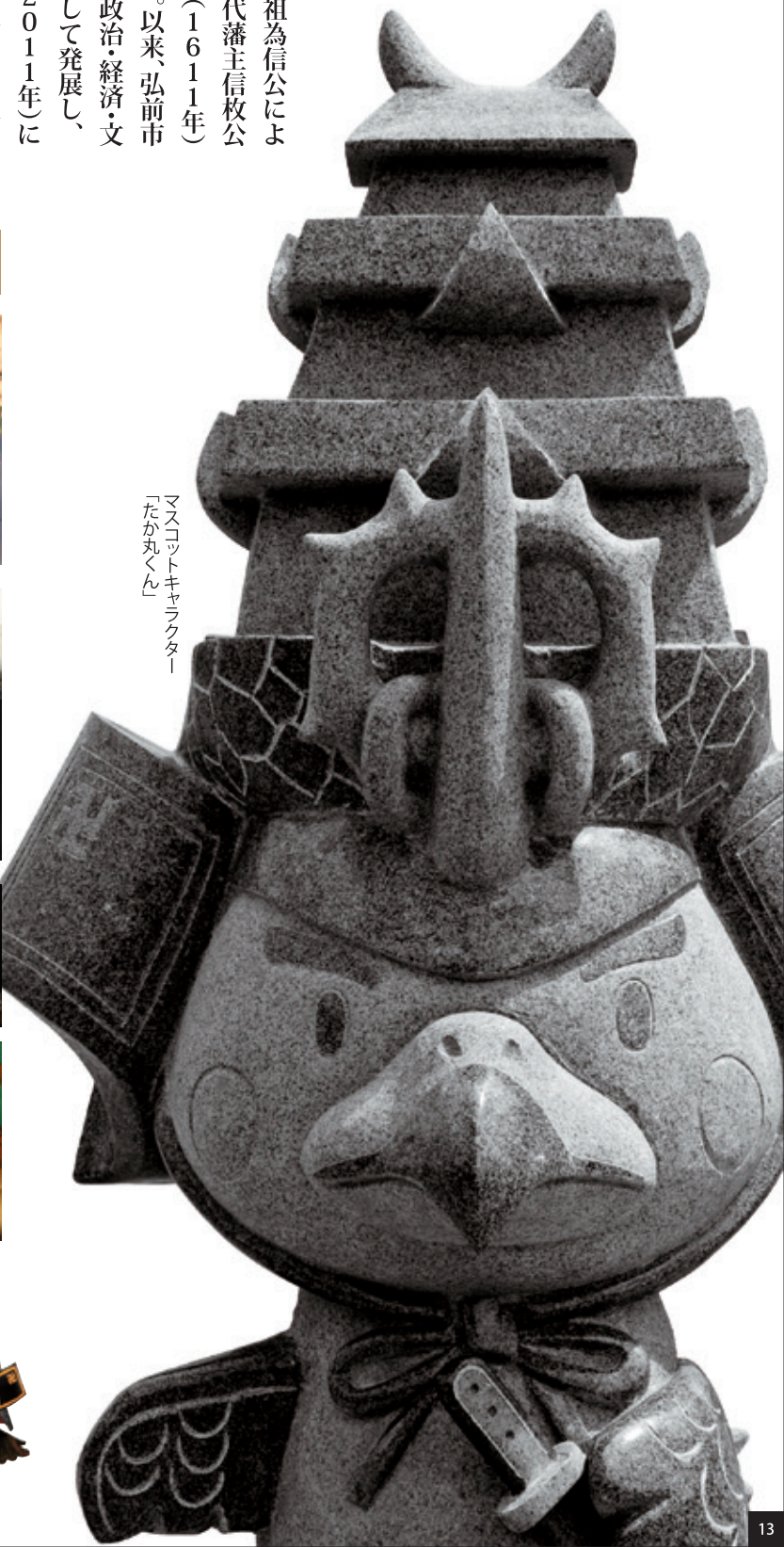
狂言弘前特別公演

狂言の人間国宝・野村万作と萬斎親子が出演。正月など特別な祝いで演じる「三番叟」に万作が、狂言「二人袴」に萬斎が出演。丁寧な解説つきで、狂言の魅力を存分に楽しめます。前売券はS席1万円、A席8千円。

■期日／ 12月12日
■場所／弘前市民会館
■問／東奥日報事業部☎017-739-1111

狂言「二人袴」（出演・野村萬斎）

ぼくの名前の由来は…弘前城の別名「鷹岡城」の「たか」と本丸の「丸」を合わせて「たか丸くん」と名付けられたよ。また、400年祭の気運が「高まる」ようにという意味もあるんだよ。

●名前：たか丸くん ●性別：男の子 ●生年月日：平成21年11月27日 ●身長：2メートルくらい ●好きな色：白（城）●好きな食べ物：弘前のおいしい食べ物 ●性格：調子に乗りやすい ●趣味：市民の安全を守ること ●特徴：羽で刀を握っている ●目標：弘前城築城400年祭を成功させること400年祭PRと弘前の魅力を全国に発信

左：明治10年頃に撮影の弘前城。今は無い「本丸御殿」の大屋根などが見える。また橋を渡った場所に、今は無い「武者門」もあった。右：現在の弘前城。

お問い合せ先／弘前城築城400年祭実行委員会 Tel.0172-40-7017
http://city.hirosaki.aomori.jp/hirosaki400th　E-mail: siro400@city.hirosaki.lg.jp

初代藩主 津軽為信公

弘前城築城400年祭 主なイベント
※2010.9月現在（他のイベント等の詳細は公式HPでご確認下さい）

オープニングセレモニー

22年大晦日の深夜から23年1月1日にかけて、ライトアップや花火、アトラクション等で盛大にセレモニーを行い、カウントダウンにより築城400年祭の開幕を祝います。

■期日／ 12月31日～翌1月1日
■場所／弘前公園
■問／弘前城築城400年祭実行委員会
☎0172-40-7017

写真はイメージです

弘前城雪燈籠まつり・津軽錦絵大回廊

今年で35回を数える「弘前城雪燈籠まつり」。2011年は弘前城築城400年を記念して、夏のねぷたまつりで使われた見送り絵などを大回廊にして、皆様をお出迎え。

■期日／ 2月10日～ 13日
■場所／弘前公園
■問／弘前市役所観光物産課
☎0172-35-1111

近衛家陽明文庫名宝展

津軽家に縁のある近衛家伝来の王朝文化を現在に伝える陽明文庫から「御堂関白記」をはじめとする国宝、重要文化財を含む貴重な資料約100点を公開します。

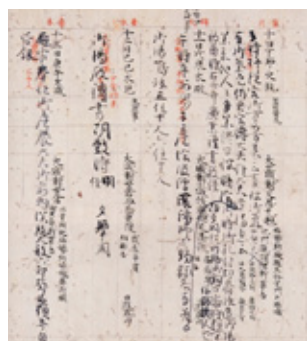
■期日／ 5月下旬～ 7月上旬
■場所／弘前市立博物館
■問／弘前市立博物館☎0172-35-0700

国宝　御堂関白記（藤原道長筆）

弘前城薪能

400年の時空を超え、厳かな雰囲気に包まれた中、かつて盛んに行われていた演能を、弘前城を舞台に薪能（能・狂言）として開催します。

■期日／ 6月下旬
■場所／弘前公園
■問／弘前城築城400年祭実行委員会
☎0172-40-7017

※事業名称、期日等の内容は多少変更となる場合があります。

薪能イメージ

駅から始まる物語

弘前駅より巡る食楽

日本料理とフランス料理 弘前の食を愉しむ

写真は日本料理のイメージです

洋館とフランス料理の街ひろさき

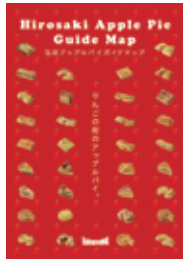
懐かしくて新しい弘前を味わう

明治・大正のレトロな洋館があちこちに残る弘前は、美味しいフレンチを気軽に味わえる「洋館とフランス料理の街」。洋館とフランス料理店のスタンプを集めた方に「洋館絵はがき5枚セット」をプレゼントします。地元の旬の食材を使ったフレンチをどうぞ。

■交通／大鰐弘前ICより車約20分
■問／弘前市立観光館
☎0172-37-5501
■HP／www.hirosaki.co.jp

写真はフランス料理のイメージです

❶ 珈琲の街ひろさき

❷ カクテルの街ひろさき

❸ 弘前アップルパイ

その一杯に、ひろさきの歴史あり

珈琲の街ひろさき

大正～昭和時代、和装に白エプロン姿の女給がいる「カフェー」が流行した弘前には、東北最古の喫茶店「万茶ン」を始め、現在でも歴史ある喫茶店が数多く残っています。江戸時代、幕府の命で北方警備として蝦夷地へ赴いた弘前藩士たちが浮腫病の予防薬として飲んだコーヒー。庶民として日本で初めてコーヒーを口にしたといわれており、当時のコーヒーを再現した「藩士の珈琲」を市内の喫茶店で楽しめます。

■交通／大鰐弘前ICより車約20分
■問／弘前は珈琲の街です委員会
☎0172-28-2088
■HP／www.naritasenzo.co.jp/iinkai/

カクテルの街ひろさき

カクテルバーの多い弘前。2008･2009年に開催したカクテル・コンペティションに応募されたオリジナルカクテルと提供店を紹介。

弘前アップルパイ

りんごの街、弘前ならではの個性ある34種のアップルパイを紹介。

❶～❸のパンフレットと、上記詳細についてはこちらへ
■問／弘前観光コンベンション協会
☎ 0172-35-3131
■HP／www.hirosaki.co.jp/

珈琲の街ひろさき･イメージイラスト

カクテルコンペティション入賞作品

弘前市内のバー

パンフレットで紹介されているアップルパイ

津軽料理遺産

津軽地方の風土や気候に育まれた食材や調理方法によって作られる料理の中から特に後世に受け継ぐべき料理として登録したものです。提供店についてはホームページで詳しく紹介。

■問／津軽料理遺産認定･普及協議会
■HP／www.tsugaru-ryouriisan.com

枝豆漬け

和料理と和菓子の旅 古都ひろさき

心なごむ城下町の風情

弘前には落ち着いて和料理、郷土料理を食べられる店がたくさんあります。そして、職人が丁寧に作った、おいしい和菓子が食べられる店もたくさんあります。城下町の情緒を感じる『和』の世界を堪能して下さい。

■交通／大鰐弘前ICより車約20分
■問／弘前市立観光館
☎0172-37-5501
■HP／www.hirosaki.co.jp/

写真は和菓子のイメージです

写真は日本料理のイメージです

津軽の風物詩と岩木山麓の温泉を堪能する

駅から始まる物語
北常盤駅・弘前駅より巡る風物詩

岩木山神社

元旦の岩木山神社に参拝
冬のお山参詣

旧暦8月1日に実施される「お山参詣」の安全を祈願し、雪の降り積もった元旦の参道を行進。雪を背景にしたお山参詣は正月にふさわしい厳かな雰囲気があります。参拝後は温かい飲み物を楽しんで。

■期日／1月1日 8:00集合
■料金／1,000円 ■場所／要問合
■交通／JR弘前駅より車約40分
■問／岩木山観光協会☎0172-83-3000
■HP／www.iwakisan.com

百沢温泉郷

嶽温泉郷

岩木山麓の温泉を楽しむ
「湯めぐり手形」

嶽温泉・百沢温泉など21施設の温泉のうち3ヶ所を「湯めぐり手形(1,000円)」で入湯できます。

■問／岩木山観光協会☎0172-83-3000
■HP／www.iwakisan.com

嶽温泉郷

マタギ飯

岩木山ジビエを堪能
岩木山南麓豪雪まつり

雪のオブジェ・大型滑り台のほか、馬そり運行やスノーモービル体験など冬の岩木山を満喫できるメニューが盛りだくさんのイベント。鹿や熊などの食材を用いた地元料理を現代風にアレンジした狩人料理(ジビエ料理)が味わえます！

■期間／2月11日～13日
■交通／JR弘前駅よりバス約45分
■問／岩木山観光協会☎0172-83-3000
■HP／www.iwakisan.com

スノーモービル体験

「いわき荘・和土菜」のかまど炊き

岩木山山麓を行く
スノートレッキング

動物の足跡をたどってみたり、プチ吹雪の体験をしたりと、津軽の冬を満喫。高照神社から岩木山神社、いわき荘までの約1.5kmの道程をトレッキング。「岩木山サポートクラブ」が、白銀の世界をご案内。

■期間／1月5日～3月31日
■開館／9:00～11:30
（天候・積雪により変更あり）
■料金／2,000円(2名～)
■交通／JR弘前駅より車約40分
■問／アソベの森☎0172-83-2215
■HP／www.iwakisou.or.jp

スノートレッキング

古民家で味わう津軽の味
日帰りで冬の津軽の味を満喫

100余年の古民家を移築した食事処「和土菜」。太い梁、高い天井の風格ある雰囲気の中、かまど炊きご飯、煙、炭火の温もりと旬の味・郷土料理を楽しめます。

■期間／12月1日～翌2月28日
■時間／17:30～21:00
■料金／「津軽料理遺産定食」3,150円
■交通／無料シャトルバス(前日要予約)
弘前駅発18:00、いわき荘発21:00
■問／アソベの森☎0172-83-2215
■HP／www.iwakisou.or.jp

氷結の滝は圧巻
第17回乳穂ヶ滝氷祭

冬に乳穂のように氷結する乳穂ヶ滝では、昔から津軽の作物の豊凶占いが行われてきました。祭の1週間前からはライトアップされ、高さ33mの滝が氷結し、ライトアップされている姿は幻想的です。

■期日／2月20日 10:00～14:00
■場所／西目屋村
■交通／JR弘前駅よりバス約70分
■問／☎0172-85-2800
■HP／www.nishimeya.jp

氷結の乳穂ヶ滝

駅から始まる物語

弘南線より巡る湯の里

南津軽の湯巡りと山里の食を愉しむ

銭湯（温泉）イメージ

多彩な泉質を愉しむ 平川市で温泉を満喫しよう

市内の宿・公衆浴場は全て温泉。泉質・効能も様々な浴場が約30ヶ所もあります。中には昔ながらの湯治施設をもった風情ある宿も。

■問／平川市商工観光課☎0172-44-1111

■HP ／ www.city.hirakawa.lg.jp/

弘前市● ●黒石市 ●平川市

ホテルアップルランド

温泉もやし（大豆）

殿様も好んだ歴史の味
大鰐名物、温泉もやし＆チョイ食べめぐり

湯治に訪れた津軽の殿様が必ず食したとされ、三百年の歴史をもつ大鰐温泉もやし。温泉熱を利用して栽培した温泉もやしを、百年食堂を含む９軒の食堂等で楽しめます。大鰐温泉名物の菓子・餅・煎餅等が気軽に食べられるチョイ食べコーナーもあります。多くの日帰り温泉も施設もあります。※温泉もやしの栽培は基本的に冬季（11〜3月）となっています。

■期間／11月中旬〜翌3月下旬

■場所／大鰐温泉街

■交通／大鰐温泉駅より徒歩約1〜10分

■問／大鰐温泉観光協会
☎0172-48-2111

温泉もやしの収穫

自然薯ラーメン

碇ヶ関地区だけの
自然薯ラーメン

地元産の自然薯の粉末を麺に練りこんだラーメンは、透き通るような色合いのあっさりとした味わい。

■場所／碇ヶ関駅周辺

■問／平川市経済部商工観光課
☎0172-44-1111

■HP／www.city.hirakawa.lg.jp/

森と人とが交流する
青森ヒバの花見隊＆縄文の宴・雪の大食卓会

山里に住み、森の恵みを受けながら森と共生してきた大鰐町早瀬野地区。大寒の厳しい自然の中、雪・火・食・音楽創作を組み合わせ、四季を通じての食材を使用した料理で縄文の宴を行います。大寒の頃に咲くヒバの花の観察会も併せて開催。

■期間／2月中旬 17:00〜20:00（雪の大食卓会）

■料金／ 18,000円（宿泊代等含む）

■交通／大鰐温泉駅より車約15分

■問／大鰐温泉観光協会
☎0172-48-2111

大鰐町・あじゃら山を背景にした弘南電車

弘南鉄道

弘前駅〜黒石駅を結ぶ弘南線と中央弘前駅〜大鰐駅を結ぶ大鰐線があります。どちらも水田やりんご畑など田園の雪景色風景が広がります。大鰐線では終点「大鰐温泉」での多くの日帰り温泉施設や「温泉もやし」、地鶏「シャモロック」などがおすすめ。弘南線沿いは、尾上の「盛美園」や「猿賀公園」、終点「黒石」の「こみせ」などが見どころ。

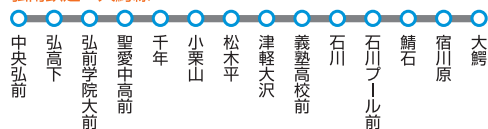
■問／☎0172-44-3136

■HP／konantetsudo.jp/

弘南鉄道・大鰐線

中央弘前 ― 弘高下 ― 弘前学院大前 ― 聖愛中高前 ― 千年 ― 小栗山 ― 松木平 ― 津軽大沢 ― 義塾高校前 ― 石川 ― 石川プール前 ― 鯖石 ― 宿川原 ― 大鰐

弘南鉄道・弘南線

弘前 ― 弘前東高前 ― 運動公園前 ― 新里 ― 館田 ― 平賀 ― 柏農高校前 ― 津軽尾上 ― 尾上高校前 ― 田舎館 ― 境松 ― 黒石

駅から始まる物語

弘南線黒石駅より巡る風物詩

古都・黒石の風物詩と温泉を堪能

こみせ通り

古都の風物詩
冬のこみせ

冬のこみせまつり

夜にはこみせがライトアップされ、ミニかまくらと雪だるまに1,000本のろうそくを点灯します。津軽の冬ならではの、幻想的な風景をお楽しみください。期間中は旧家では雛人形を展示し自宅を開放しています。

■期間／2月12日･13日
■場所／中町こみせ
■問／黒石観光協会☎0172-52-3488
■HP／kuroishi.or.jp/

新青森駅と黒石市街・黒石温泉郷を結ぶ
無料シャトルバス

東北新幹線全線開業日の12月4日から、新青森駅と黒石温泉郷を結ぶ無料シャトルバスが運行します。「こみせ」などの観光名所を経由し、温湯･板留･落合などの温泉郷を結びます。

■期間･コース･ダイヤ等は要問合
■問／黒石観光協会☎0172-52-3488

雪だるま王国･黒石で雪を楽しむ
小嵐山･黒石温泉郷雪まつり

20m級の巨大なものや個性あふれるたくさんの雪だるまを中心とした雪まつりを開催。除雪車や雪上車などの乗車体験（予定）や雪あそびが楽しめるほか、多彩なイベントが会場を盛り上げます。

■期間／2月5日～20日（予定）
■場所／津軽伝承工芸館
■交通／黒石駅より車約15分
■HP／koarashiyama.web.fc2.com

小嵐山･黒石温泉郷雪まつり

市内を埋め尽くす
4万市民4万個の雪だるま

4万市民が4万個を目指し、様々に趣向を凝らした雪だるまを製作。冬のイベントを盛り上げます。

■期日／2月13日（予定）
■場所／市内全域
■問／黒石観光協会☎0172-52-3488
■HP／kuroishi.or.jp/

冬の夜を温かく照らす
日本一のこけし灯ろう祭

黒石市に伝承される黒石ねぷたと温湯こけしを組みあわせたこけし灯籠。約110体を製作し温湯共同浴場周辺に展示します。ミニ灯ろう制作講習会や、三味線路上ライブなども開催します。

■期間／12月4日～翌2月13日
■場所／温湯温泉地区内の各所
■交通／黒石駅より車約10分
■問／津軽伝承工芸館☎0172-59-5300
■HP／tsugarudensho.com/

津軽こけし館

雪深い津軽の風土が生んだ
津軽系こけし

黒石市温湯温泉を中心に広がり、故盛秀太郎翁により「温湯こけし」が作られました。アイヌ模様やだるま絵、弘前藩の家紋である牡丹の花があしらわれているものなど、多彩な表情を見せます。裾広でふくらんだ胸などの形状は温湯こけしならではの愛らしさです。

■問／黒石津軽伝承工芸館
☎0172-59-5300
■HP／tsugarudensho.com/

黒石の名湯を満喫
黒石温泉郷と湯めぐり湯札

温湯温泉郷、落合温泉郷、板留温泉郷の３つの温泉郷があります。共同浴場が2ヶ所あり、湯治や自炊ができる宿もあります。また、温泉巡りには小嵐山･黒石温泉郷の6つの温泉旅館の入浴券が3枚ついた湯札が便利。地元こけし工人が製作しており「壁かけこけし」としてお土産にもなります。

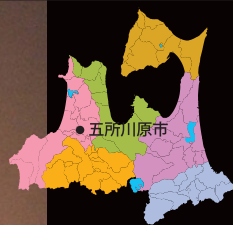
■価格／1,500円
■販売所／津軽伝承工芸館、津軽こけし館
☎0172-59-5300
■交通／黒石駅より車約15分
■HP／koarashiyama.web.fc2.com/onsenfile.html

ミネラルたっぷりの
「温泉なべ」は落合温泉の源泉水が旨さの秘訣

温泉なべ・温泉豆乳なべを食べられるお宿は6ヶ所。貴重な落合温泉水と「温泉豆乳ゆば」「温泉豆腐」「温泉豆乳うどん」「温泉豆乳こんにゃく」をベースに青森県産の魚貝、肉、野菜をつかったミネラルたっぷりの鍋をお楽しみください。（要予約）

■問／黒石観光協会☎0172-52-3488
■HP／kuroishi.or.jp/onsennabe.htm

青荷温泉

温泉なべ

迫力の偉容が四季を通じて楽しめる
立佞武多の館

７階建てのビルに相当する高さ約22mの大型立佞武多３台を常時展示。らせん状のスロープを下りながら立佞武多を見ることができ、巨大スクリーンでは実際の祭りの臨場感を味わえます。製作現場の見学や紙貼り・色つけなども体験でき、「金魚ねぶた」や「立佞武多燈籠」・「ミニ津軽凧」の製作体験ができます。(有料)

■開館／ 9:00～17:00
■料金／一般600円
■交通／五所川原駅より徒歩約5分
■問／☎0173-38-3232
■HP／ www.tachineputa.jp/

立佞武多の館・外観

津軽平野の展望を愉しむ
立佞武多の館 展望ラウンジ「春楡」

五所川原一の高さを誇る「立佞武多の館」の最上階で、総ガラス張りの室内から津軽平野へ沈む夕陽や岩木山、八甲田の景色を楽しみながら郷土料理に舌鼓を打つことができます。夜景を見ながらの食事もまた格別。

■開館／ 9:00～21:00
■交通／五所川原駅より徒歩約5分
■問／☎0173-38-3232
■HP／ www.tachineputa.jp/

冬だけの特別料理
「つくね芋三昧」

五所川原特産の「つくね芋」は、丸い形と強い粘りが特徴。栄養価が高く濃厚な味わいで、料亭などへ出荷されるため、一般にはあまり出回らない高級品。「三昧」の名前の通り、献立の全メニューにつくね芋を盛りんだ特別料理です。

■期間／ 12月1日～翌3月末
■時間／ 11:00～17:00
（16:30ラストオーダー）
■料金／ 1,050円(税込)
■場所／立佞武多の館 6Fラウンジ「春楡」
■交通／五所川原駅より徒歩約5分
■問／☎0173-38-3232
■HP／ www.tachineputa.jp

つくねいも定食

駅から始まる物語

五所川原駅より巡る風物詩

五所川原 立佞武多のふるさと ストーブ列車の出発駅

窯場の見学もできる 津軽金山焼で陶芸体験

津軽金山焼陶芸体験（イメージ）

かつてこの地にあった須恵器に強い影響を受け、釉薬を一切使わずに1,300度の高温でじっくりと焼き固める「焼き締め」の手法により、深みのある独特の風合いを生む津軽金山焼。窯場ではいつでも見学でき、陶芸教室では陶芸体験を楽しめます。敷地内の地中海レストラン「パタータ」で軽食から本格的地中海料理まで金山焼の器で堪能でき、ピザ作り体験やストラップ作りも楽しめます。

■開館／9:00～17:00、レストラン・パタータ 10:00～21:00（ラストオーダー 20:30）
■料金／陶芸体験 一般 1kg･2,100円、500g･1,200円
■交通／JR五所川原駅より車約15分
■問／☎0173-29-3350
■HP／www.kanayamayaki.com/

津軽金山焼（登り窯と作品）

珍商品、果肉まで赤い
「赤～いりんご御所川原」
花・葉・果肉の中まで赤い、珍しいリンゴ。ワインやジュース、ジャム、お茶等の加工品が人気です。ほどよい酸味と甘さを抑えたジュースは絶品です。

りんごの里で雪遊び
第24回りんごの里 いたやなぎ雪まつり
豪華商品が当たるくじ付きみかんまき、つきたての餅でつくるおしるこや「もつけ鍋」、雪でできたジャンボすべり台など様々なイベントを開催。
■期日／2月11日
■場所／板柳町ふるさとセンター
■交通／JR板柳駅より徒歩約10分
■問／板柳町商工会☎0172-73-3254

心をこめた味わい
津軽三味線の館「聴酒屋だだん」
津軽三味線の生演奏が行なわれる店内で、地酒や四季折々の旬の味を堪能。地元の特産「十三湖のシジミ」や金木地区の「馬肉」を使った料理がおすすめ。
■開館／11:50～13:30、17:50～22:30
※三味線演奏は19:00～、21:00～
※ランチタイムの三味線演奏あり。（要確認）
■休館／月曜
■交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
■問／☎0173-34-6015
■HP／www1.ocn.ne.jp/~dadan/

津軽三味線の館「聴酒屋だだん」

ゴニンカントランプ世界選手権大会

江戸時代から続く
ゴニンカントランプ世界選手権大会
五所川原をはじめ津軽地方で昔から盛んに遊ばれているトランプゲームの世界大会。個人戦や団体戦があり、成績優秀者には段位認定も行なっています。ゴニンカンを知らない人でもルールや遊び方を覚えることができる体験コーナーやニンテンドーDSを使って体験できるコーナーもあり、誰でも楽しめるイベントです。
■期日／1月（要問合）9:00～16:00
■参加費／2,000円
■場所／五所川原市市民体育館
■交通／JR五所川原駅より車約5分
■問／五所川原商工会議所 ☎0173-35-2121
■HP／www.gocci.or.jp/goninkan/

スコップ三味線世界大会

熱い演奏が繰り広げられる
スコップ三味線世界大会
曲に合せてスコップを栓抜きなどで打ち付けて演奏する「スコップ三味線」。五所川原をスコップ三味線発祥の地とすべく開催される世界大会では、各地の奏者が熱い演奏を繰り広げます。
■期間／12月上旬 10:00～
■場所／エルムの街ショッピングセンター
■交通／JR五所川原駅より車約5分
■問／スコップ三味線世界大会事務局 ☎0173-34-2339

ストーブ列車内のだるまストーブではスルメが焼かれている。
※注：常時、この風景が見られるわけではありません

津軽の冬の風物詩 ストーブ列車

ダルマストーブの石炭が赤々と燃える車内から窓の外に広がる一面の銀世界を満喫。ストーブの上でスルメを焼き、地酒を酌み交わせば、身も心も温まることまちがいなし。奥津軽トレインアテンダントによる観光案内も心が和みます。四季折々の駅弁があり冬（12〜3月）は「ストーブ弁当」を販売しています。

■期間／ 12月1日〜翌3月31日
■時間／日中の2往復のみストーブ列車を運行
■料金／運賃+ストーブ列車料金300円
■場所／津軽五所川原駅〜津軽中里駅
■問／☎0173-34-2148
■HP／tsutetsu.web.infoseek.co.jp/

津軽鉄道

ストーブ列車で有名な津軽鉄道は、津軽五所川原駅〜津軽中里駅間20.7kmを45分で結ぶローカル線。昔は津軽半島の木材を運ぶ森林鉄道として栄えました。沿線は田園に囲まれ、冬は遠大な白銀の世界が広がります。

津軽中里
深郷田
大沢内
川倉
芦野公園
金木
嘉瀬
毘沙門
津軽飯詰
五農高前
十川
津軽五所川原
JR五能線（リゾートしらかみ）乗り換え

ストーブ弁当は3日前までに要予約（2名様より）。

ストーブ列車を牽引するＤＤ３５０形ディーゼル機関車

太宰らうめん

太宰のふる里で津軽の郷土料理を
太宰らうめんと郷土料理「はな」

金木名産の「霜降馬刺握り寿司」や太宰治が好んで食べたといわれる“根曲がり竹”と“わかめ”の入った「太宰らうめん」、若おい昆布を使ったおにぎりなど、津軽の郷土料理を満喫できます。

■開館／ 11:00〜16:00
■休館／年末年始
■交通／金木駅より徒歩約7分（マディニー内）
■問／☎0173-54-1160
■HP／www.jongara-net.or.jp/~madeny/

マディニー外観

激馬かなぎカレー

食べ歩きも楽しい
激馬かなぎカレー

金木町特産品の馬肉をコトコト煮込みスパイスが効いた味わい深いカレー。付け合わせの高菜の漬物がベストマッチ。一度食べたらクセになります。提供店は複数、激馬カレー巡りも楽しめます。

■時間／ 10:00〜17:30 ■料金／ 680円
■場所／喫茶店「駅舎」
■交通／津軽鉄道芦野公園駅下車すぐ
■問／かなぎ元気倶楽部☎0173-54-2828
■HP／www.kanagi-gc.net/

津軽の厳寒を体感

文学散歩

太宰ゆかりの地
かなぎ文学散歩

「斜陽館」をはじめ、町内の太宰治ゆかりの地の由緒や歴史を地元ガイドがご案内。散歩の途中で金木名菓の試食もあります。（要問合）

■時間／ 10:00〜12:00
■料金／ 2,400円
■場所／金木駅集合
■問／太宰治記念館「斜陽館」☎0173-53-2020
■HP／www.kanagi-gc.net/

奥津軽の冬を体験
スノーシュートレッキング体験

スノーシューで県立芦野公園内を散策。太宰治の文学碑をはじめ、金木の歴史と共に建立された碑をめぐりながら、津軽の冬を楽しめます。津軽の冬の風物詩「地吹雪」に出会えるかも。

■期間／ 1月上旬〜2月下旬
■時間／ 10:00〜12:00頃
■料金／ 2,900円
■問／太宰治記念館「斜陽館」☎0173-53-2020
■HP／www.kanagi-gc.net/

太宰治記念館「斜陽館」

津軽弁の説明も楽しい
かなぎ元気村、かだるべぇふれあい田舎体験

茅葺き屋根の家屋を拠点に農業体験、金木町特産品ひば細工体験、木工体験、郷土料理等、地元の方と交流し、昔ながらの知恵、自然の美味しさを体験。体験を通して津軽の風土を味わえます。

■時間／10:00〜12:00、13:30〜15:30
■休館／12月29日
■料金／一般2,400円（ひば細工体験は3,000円）
■交通／五所川原北ICより車約15分
■問／かなぎ元気倶楽部☎0173-54-2828
■HP／www.kanagi-gc.net/

駅から始まる物語

五所川原駅より巡る奥津軽

ストーブ列車で地吹雪と津軽三味線のふるさとへ

心に響く魂の音色

津軽三味線会館

津軽三味線発祥の地で津軽三味線の歴史、民謡、郷土芸能等を紹介。生演奏を聴いたり津軽三味線の体験指導を受けられます（要予約）。津軽三味線発祥の地で聴く三味線の音色は、津軽の風土を感じさせてくれます。

■開館／ 9:00 ～ 17:00
■休館／ 12月29日
■料金／一般500円
■交通／津軽鉄道金木駅より徒歩約7分
■問／☎0173-54-1616
■HP／ www.kanagi-gc.net/syami/

津軽三味線会館・津軽三味線ステージ

日本初の公共タラソテラピー施設

し～うらんど海遊館

海の様々な資源を用いて体の機能を整える自然治療・タラソテラピー。体温と同じくらいに温められた温水プールや海藻パックなどの本格的タラソテラピーが気軽に楽しめます。体調や体力にあわせ、無理なく利用でき、運動不足の解消・ストレス解消・健康の維持増進・痛みの予防改善からレジャー・美容まで様々なニーズに合わせて安心して利用できます。

■開館／冬期営業時間（12月～翌3月）
平日・土曜10:00～20:30（日曜・祝日は11:00から。最終入館19:30）
■休館／火曜（祝日除く）
■料金／一般1,000円
■交通／ JR五所川原駅より車約60分
■問／☎0173-27-7373
■HP／ www.wellnessdevelopment.co.jp/shiura/

し～うらんど海遊館「元気海プール」

しじみ加工品のお土産が盛り沢山

「道の駅」十三湖高原 トーサムグリーンパーク

十三湖を望む高台にあり、十三湖名産の活しじみやシジミエキスドリンク・新鮮な野菜や漬け物などの特産品を販売。「レストランわらび」では、しじみを使った料理のほか、市浦牛ステーキ定食も味わえます。

■開館／ 9:00～18:00
（11月より9:00～17:00）
■休館／ 12月31日～翌1月3日
■交通／ JR五所川原駅より車約45分
■問／☎0173-62-3556
■HP／ www.tosam.co.jp/

しじみ漁

厳寒が旨い

十三湖産「寒シジミ」

十三湖が結氷する厳寒期、湖面の氷を割って行なわれるしじみ漁。この時期採れるしじみは「寒シジミ」と呼ばれ、夏の「土用シジミ」に比べると身は若干小さいものの、旨みを蓄えて冬眠しているため出汁が良く、旬とされています。

■場所／道の駅や十三湖周辺のお店で販売しています。
■問／道の駅十三湖高原☎0173-62-3556
■HP／ www.tosam.co.jp/

遮光器土偶がシンボル

木造駅「ふれ愛センター」

JR木造駅舎に合築した施設で、つがる市にある青森県を代表する縄文遺跡「亀ヶ岡遺跡」から出土した「遮光器土偶」を建物に貼り付けたインパクトある外観が目を引きます。また、この土偶の目が列車の発着に合わせ点滅し、夜にはライトアップされ幻想的な景観を見せます。

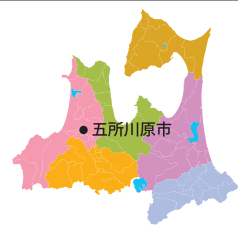
■場所／ JR五能線木造駅
■問／つがる市商工観光課
☎0173-42-2111

木造駅「ふれ愛センター」

沿線・近郊の温泉

黄金崎不老ふ死温泉

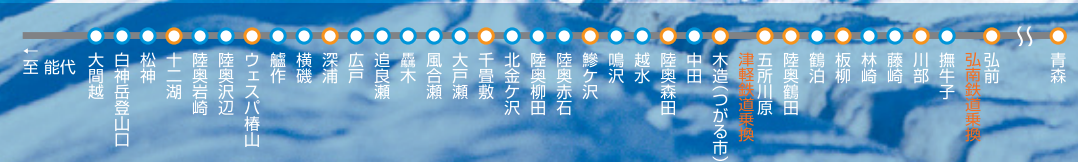
みちのく温泉

鰺ヶ沢温泉

ミニ白神・十二湖トレッキング＆海彦山彦食の旅

JR五能線

青森県屈指の風光明媚な「ローカル線」。白神山地と日本海、豊かな津軽平野を「リゾートしらかみ」が走ります。海沿いは奇岩怪石が連なる風景をともにし、内陸に入ってからは水田やりんごの田園風景が望めます。景勝ポイントでは速度を落とし、美しい風光を車窓から楽しむことができます。また、普通列車では、ひなびた駅舎やホームの趣ある風情に浸ることができます。

■詳しくは48P参照

←至 能代　大間越　白神岳登山口　松神　十二湖　陸奥岩崎　陸奥沢辺　ウェスパ椿山　艫作　横磯　深浦　広戸　追良瀬　驫木　風合瀬　大戸瀬　千畳敷　北金ケ沢　陸奥柳田　陸奥赤石　鰺ケ沢　鳴沢　越水　陸奥森田　中田　木造(つがる市)　五所川原 津軽鉄道乗換　陸奥鶴田　鶴泊　板柳　林崎　藤崎　川部　撫牛子　弘前 弘南鉄道乗換　青森

海彦山彦料理の一例です

こだわりの旬の幸
海彦山彦食の旅

世界自然遺産白神山地から湧き出る水の恵みを受けた「海の幸」「山の幸」が豊富な津軽西海岸。地元で採れた四季折々豊かな旬の幸を堪能。食材の揃わない日はのぼりを出さないというこだわりぶりです。

■場所／鰺ヶ沢町・深浦町町内各提供店
■交通／鰺ケ沢駅より車約20分範囲内
■問／鰺ヶ沢町産業振興課
☎0173-72-2111
■HP／www.aptinet.jp/umihiko/

川のトロ
幻の魚「イトウ」

現在では北海道の一部のみで生息している「幻の魚」。サーモンピンクの身は「川のトロ」とも呼ばれ、日本で初めて養殖に成功した鰺ヶ沢町内はもとより県内外に広く出荷しています。

■場所／イトウ料理提供店(要予約)
■問／鰺ヶ沢町産業振興課
☎0173-72-2111
■HP／www.ajigasawa.net.pref.aomori.jp/g2_page/kanko/eat.html

夏の風物詩がゲレンデに登場
雪っこねぶた大滑走

夏の風物詩であるねぶたを冬のゲレンデで運行。地元町内会青年部による囃子演奏のなか、ゲレンデをねぶたが滑り降り、ハネトが乱舞、花火が打ち上がります。

■期間／ 12/31、翌1/1・2・8・9・15・22・29、2/5・12・19・26の12日間 ※天候により中止の場合があります。
■時間／ 20:00 ～ 20:30頃
■場所／ナクア白神スキーリゾート
■交通／鰺ヶ沢駅より車約20分
■問／☎0173-72-1011
■HP／www.naqua-shirakami.jp/

夏とはひと味違う
冬のミニ白神トレッキング

冬のミニ白神ブナ林をガイドと一緒に歩き、ブナの冬芽や小動物の観察をしながらのトレッキング。(ガイド付完全予約制)野ウサギやカモシカに出会えるかも。

■期間／ 2月1日～2月28日(要予約)
■時間／ 9:00～15:00
■料金／ 2,500円(スノーシュー等レンタル料、保険料等含)(予定)
■交通／鰺ヶ沢駅より車約30分
■問／ミニ白神総合案内休憩所くろもり館
☎0173-79-2009
■HP／ www.ajigasawa.net.pref.aomori.jp/page/shisetu/minishirakami/

純白の白神山地を体感
冬の白神山地タクシープラン

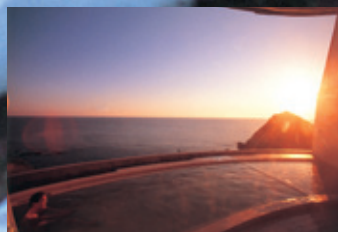
冬の白神山地は、雪深く、純白。全てがトレッキングのフィールドとなります。スノーシューを履いてガイドと一緒に歩くと、雪に覆われたブナ林や動物の足跡など、冬の白神山地を体験できます。

■期間／ 1月中旬～2月下旬(要予約)
■時間／ 8:30～11:30(予定)
■料金／ 4,500円(予定)
■場所／佐内沢周辺、ミニ白神
■交通／鰺ヶ沢駅より車約30分
■問／西海観光株式会社
☎0173-72-4512
■HP／www2.plala.or.jp/saikaikankou/

静寂の白神を歩く 雪の十二湖白神かんじきトレッキング

冬期間、十二湖白神へ入ることができるのは、ほんの一部のみ。誰もいない静かな森の中をガイドと共に歩き、小鳥の声や風の音に耳を傾けながら贅沢な時間を満喫。トレッキング後は旬の料理と温泉を堪能ください。

■期間／12月下旬～翌3月下旬
■時間／8:30～15:30、10:30～15:30（コースにより異なる）
■料金／16,000円～25,000円（ご利用日、人数、コースにより異なる）
■問／ウェスパ椿山☎0173-75-2261
■HP／www.wespa.jp

アオーネ白神十二湖

ウェスパ椿山

「ウェスパ椿山」でいろいろ体験

ガラス創作体験

風力発電のクリーンエネルギーでガラスを溶解する環境に優しい工房で、世界にひとつだけのオリジナルグラスやアクセサリー作りに挑戦。ビーズアクセサリーなど5種類の体験メニューのほか、特別体験もあります。

■時間／9:00～11:00、13:00～16:00
■休館／火曜（11月～3月）
■料金／1,260円～3,990円
■場所／ウェスパ椿山・ガラス工房
■交通／五能線ウェスパ椿山駅下車
■問／ウェスパ椿山☎0173-75-2261
■HP／www.wespa.jp

「ふかうら雪人参」収穫体験

北国の厳しい寒さが育んだ、甘くおいしい「ふかうら雪人参」。白神山地を背景に、広大な農場の雪の中から掘り起こします。収穫した人参は、その場でしか味わえない生絞りの人参ジュースにして楽しみます。

■期間／12月下旬～翌2月下旬
■時間／9:00～12:00、13:00～16:00（予定）
■料金／14,000円～19,000円（宿泊料込み。ご利用日、人数により異なる。予定）
■場所／ウェスパ椿山近辺
■交通／ウェスパ椿山駅下車
■問／ウェスパ椿山 ☎0173-75-2261
■HP／www.wespa.jp

「グルメinふかうら」の料理の一例

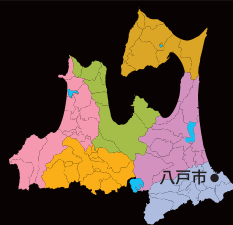
美味しい深浦を堪能
グルメinふかうら

真冬の日本海で水揚げされた鮮度抜群の食材の数々と「白神の詩」、「夕日海岸」などの地酒や各種ドリンクを120分飲み放題。特産品の「つるつるわかめ」「各種寿司漬」や「旅館・ホテル無料宿泊券」が当たるお楽しみ抽選会、アトラクションなどもあります。（料金：要問合）

■期日／2月毎週土曜（要予約）
■時間／18:00～20:00
■場所／深浦町内各施設
■問／深浦町観光協会☎0173-74-3320
■HP／www.fukaura.jp/

新酒を地元の食と
新酒の会「酒宴」

しぼりたてのにごり・純米・大吟醸の3種類の新酒が飲み放題。地元の食材を使ったおいしい料理をはじめ、抽選会やねぶた囃子演奏など盛りだくさん。

■期間／3月（予定）18:00～（予定）
■料金／3,000円（予定）
■場所／舞戸公民館
■交通／鰺ヶ沢駅より徒歩約1分
■問／鰺ヶ沢町観光協会 ☎0173-72-5004
■HP／ajigasawa.info/

本八戸駅より巡る祭りと食楽

神社・旧家・路地でえんぶり鑑賞

勇壮な摺りに酔いしれる 八戸えんぶり

八戸地方に春を呼ぶ豊作祈願のお祭り。馬の頭をかたどった烏帽子をかぶった太夫が、頭を大きく振る独特の動作で稲作の様子を舞います。合間に行われる、子供たちによる松の舞やえびす舞などの可愛らしい祝福舞も人気があります。国の有形文化財「更上閣」で開催される「お庭えんぶり」は、かつて大商人の家の庭などでえんぶり組が舞っていたものを再現したもの。甘酒と八戸せんべい汁を味わいながらゆっくりとえんぶりを鑑賞できます(予約制)。期間中は奉納摺り、えんぶり行列、一斉摺り、御前えんぶり、えんぶり公演、かがり火えんぶりなどの行事があります。

■期間／2月17日～20日(お庭えんぶりは22日まで)
■場所／八戸市中心街、市庁前市民広場等
■交通／ JR本八戸駅より徒歩約10分
■問／八戸市観光課☎0178-46-4040
　　八戸観光コンベンション協会☎0178-41-1661
■HP／ www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko/festival/enburi/

更上閣での「お庭えんぶり(どうさいえんぶり)」

お庭えんぶり(えんこえんこ)

一斉摺り(恵比寿舞)

奉納摺り(大黒舞)

一斉摺り(どうさいえんぶり)

かつての南部藩の中心地 古都、八戸・三戸地方へ

●八戸市 ●三戸町 ●五戸町 ●田子町 ●南部町 ●階上町 ●新郷村

JR八戸線と八戸市内バスが1日乗り放題
八戸えんじょいカード

カードを提示すると対象の宿泊施設や飲食店、観光施設等で特典が受けられます。※詳しくは49P参照

手軽でお得
駅から観タクン

蕪島や八食センターなどの観光スポットを八戸駅発着の２時間で巡る充実の観光タクシー7コース。当日の申し込みもOK。気軽に利用できます。

■時間／ 9:00～15:00の間の2時間
■料金／各コースタクシー小型車1台5,800円
■問／八戸タクシー協会 ☎0178-24-3335
■HP／ www.jreast. co.jp/tabidoki/taxi/hachinohe/

横丁（路地裏）で八戸の旨いもの探索

八戸の横丁
中心街に8つの路地裏飲食通り

八戸の中心街には懐かしい雰囲気の横丁が８つあります。どの店にも隣に座った客と気軽に話せる雰囲気があり、市民や観光客に親しまれています。八戸の郷土料理や新鮮な魚介類を使った居酒屋定番メニューなど八戸の食を満喫できます。
■場所／八戸市中心街
■交通／ JR本八戸駅より徒歩約10分
■問／八戸横丁連合協議会☎0178-72-3311
■HP／www.36yokocho.com/~yokocho/

八戸の魅力をダイジェストに紹介
八戸ポータルミュージアム「はっち」

地域に根付く歴史や文化をはじめ、多様で奥の深い魅力を凝縮した観光交流の拠点施設として、新青森駅開業後の平成23年2月にオープン。館内には八戸の自然や食、祭り、歴史、文化のほか、朝市や横丁などを紹介する屋台の形をした展示ブースを設置し（予定）、年間を通して八戸観光の魅力を存分に味わうことができます。
■開館／ 9:00〜21:00
■休館／月1回（不定期）、12月31日・1月1日
■交通／本八戸駅より徒歩約10分
■問／八戸市八戸ポータルミュージアム開設準備室☎0178-43-2111
■HP／hacchi.jp/

日本酒をもっと楽しもう
酒蔵見学

南部杜氏が盛んに酒造りを始めるようになった江戸時代後期ごろから各地に酒蔵ができたとされる八戸地方。年明けから2月の八戸えんぶりにかけて、新酒の仕込み時期には多くの人が見学に訪れます。運がよければ新酒の試飲ができるかも。
■問／八戸酒造☎0178-33-1171
八戸酒類☎0178-43-0010

粉物を味わう
北のコナモン博覧会

小麦粉や米粉、そば粉、豆粉などを素材にした「コナモン」料理の食べ歩き。八戸市、久慈市、二戸市の飲食・販売店約160店舗が参加。
■期間／12月4日〜翌2月28日
■問／八戸市商工政策課
☎0178-43-2111

ひっつみ

独特の歯ごたえと舌ざわりが特徴。旬の野菜と一緒に煮込むその味わいは、素朴でありながらも贅沢な料理と言えます。

そばかっけ

三角に切ったそばを昆布ダシの鍋で湯がき、ネギ味噌やにんにく味噌をつけて食べる“そばのしゃぶしゃぶ”。噛む程にそばの香りが広がります。

ハーモニカ横町

みろく横丁

昭和通り

たぬき小路

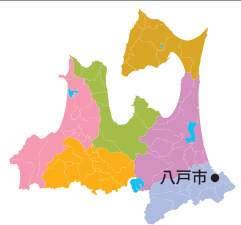
れんさ街

八戸名物朝市と郷土食を堪能

イサバのかっちゃがお出迎え 陸奥湊駅前朝市

約200店舗が出店しており、夜明け前から新鮮な魚介類や加工品が店頭に並びます。市場内に飲食スペースがあり、購入したものをその場で食べられます。

■時間／3:00〜12:00(売り切れ次第閉店)
■休館／日曜、第2土曜、年始
■料金／ご飯1杯100円、味噌汁100円〜200円
■場所／陸奥湊駅前
■問／八戸市営魚菜小売市場
☎0178-33-7242
■HP／www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/10,4953,33,html

活気あふれる、八戸最大級 湊日曜朝市・海の朝市

八戸市内最大規模の朝市。約400軒を超える出店と朝市目当てのお客様で漁港が埋め尽くされます。八戸らしい新鮮な魚介や焼き魚はもちろん、格安の野菜、お惣菜までありとあらゆるものが揃っています。

■期間／3月中旬〜12月の日曜
■時間／日の出〜10:00
■場所／館鼻岸壁
■交通／陸奥湊駅より徒歩約15分
■問／湊日曜朝市会☎0178-27-3868
海の朝市実行会☎0178-33-2262

陸奥湊駅前朝市

八食センター「七厘村」

八戸の食がすべて揃う 八食センター

八戸ならではの新鮮素材を購入できます。買った食材をその場で炭火焼にして食べられる「七厘村」もあります。

■交通／八戸駅より「八食100円バス」約10分
■問／☎0178-28-9311
■HP／www.849net.com/

サバのまち八戸ならではのイベント イカ・サバまつり

八戸前沖鯖と烏賊をネタとした料理や商品の出店や料理コンテスト、ほかを開催。

■期間／12月3日〜5日
■場所／八食センター
■問／八食センター☎0178-28-9311

八食センター

いちご煮

せんべい汁

八戸らーめん

八戸前沖サバ

八戸名物の旬と伝統を愉しむ

贅沢な磯の味「いちご煮」

新鮮なウニとアワビでお吸い物風に仕立てたいちご煮。熱湯につけたウニが、木いちごのように見えることからこの名前がつけられました。

きんきん

「きんきん」(一般的には「キンキ」又は「喜知次」と呼ばれる)は冬が旬の脂の乗った白身の魚。八戸地方では、煮つけや焼き魚などの祝い膳に上がる縁起の良い魚として知られ、「ひっつみ」と呼ばれる郷土料理に使われることもあります。

■八戸市観光課☎0178-46-4040
■HP／www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko/

B級グルメの常連「八戸せんべい汁」

鍋用の南部せんべいを、肉や野菜などと一緒に割り入れて煮込む八戸地方の郷土料理。八戸市はB-1グランプリ発祥の地で、八戸せんべい汁は、平成19年より3年連続シルバーグランプリ(第2位)を受賞。

■問／八戸せんべい汁研究所
☎0178-70-7185
■HP／www.senbei-jiru.com/

昔ながらの「八戸らーめん」

煮干をふんだんに使った、あっさりとしたしょうゆベースのスープと細めのちぢれ麺が特徴で、70年あまりの歴史を持つ昔ながらのラーメンです。

■問／八戸らーめん会事務局
(八戸商工会議所内)☎0178-43-5111
■HP／www.8cci.or.jp/hachinohe-ramen/

八戸の特選素材「はちのへ鮨」

新鮮な地魚を中心に、水揚げ日本一のイカや脂の乗った八戸前沖さばを加えた寿司を、市内19店舗で提供しています。

■料金／11貫3,000円
■問／八戸商工会議所業務課
☎0178-43-5111

北緯40度30分「八戸前沖さば」

日本のさば漁としては最北端に位置する八戸前沖の漁場では、低い水温で脂肪分を蓄え、日本一脂ののった美味しいさばが水揚げされます。市内の飲食店ではしめ鯖、棒ずし、さば出汁のせんべい汁など、様々なさば料理が食べられます。

■問／八戸前沖さばブランド推進協議会
(八戸商工会議所内)☎0178-43-5111
■HP／www.8saba.com/

陸奥湊朝市のシンボル「イサバのかっちゃ」像

八戸市内最大級の朝市「湊日曜朝市」

八戸三昧 八戸あさぐる

早朝の八戸で朝市と銭湯を体験。前日の22時までに宿泊ホテルに申し込みをすると、翌朝タクシーがホテルまで迎えにきてくれます。料金も朝市と銭湯各1箇所を回るコースが1,500円と気軽に楽しめます。

■問／八戸観光コンベンション協会
☎0178-41-1661
■HP／www.hachinohe-cb.jp/asaguru/

磯ラーメン

駅から始まる物語

八戸線で巡る景勝と食

種差海岸は 車窓から愉しむ 遊歩道で愉しむ

JR八戸線

白いボディに赤いペイントが「赤ベゴ(牛)」の愛称でも親しまれている八戸線。八戸駅～久慈駅を結ぶ64.9kmの旅は、太平洋の海岸景勝を楽しませてくれます。海の幸を満喫できる食材の宝庫で、いちご煮の発祥地でもあり、最近では磯ラーメンが話題です。陸奥湊や鮫駅周辺には、その海の幸を堪能できる食事処や朝市が多数開かれているほか、沿線には磯料理でもてなす民宿や旅館も多く点在します。

八戸（JR東北新幹線・青い森鉄道(直通有り)乗り換え）― 長苗代 ― 本八戸 ― 小中野 ― 陸奥湊 ― 白銀 ― 鮫 ― プレイピア白浜(臨時) ― 陸奥白浜 ― 種差海岸 ― 大久喜 ― 金浜 ― 大蛇 ― 階上 → 至 久慈

種差海岸沿いを走るJR八戸線

寒風に耐え、北の大地に育つ

階上早生「階上そば」

大正８年に指定された青森県の奨励品種第1号で、国内でも奨励品種として最初に指定されました。実は大粒できれいな黒褐色。とにかく香りの良い蕎麦で、生地がよく伸びるのが特徴です。八戸市南郷や階上町の道の駅などで召しあがれます。蕎麦打ち体験ができる施設もあります。

農業を通して食を知る

農業体験

稲作から野菜栽培、雑穀栽培、山菜採り、野菜の収穫など四季に応じていろいろな農業体験ができます。雨天時は室内やハウス等で加工体験や伝統工芸製作体験も楽しめます。お昼には階上町の地元食材を使用しての調理体験を楽しんでいただきます。元気で知識豊富なお母さんたちが待ってますよ。

■時間／9:00～16:00
■料金／日帰り体験1,500円、1泊2日7,000円、2泊3日12,000円
■交通／階上駅より車約20分
■問／階上グリーン・ツーリズム協議会 ☎0178-88-2116

修学旅行生による農業体験

タシロばばちゃのお店

葦毛崎から種差海岸を望む

広大な天然芝と岩礁美

種差海岸トレッキング

リアス式海岸特有の荒々しさと天然芝生地、春から秋にかけて咲き誇る海浜植物や高山植物が広がる穏やかな風景を併せ持つ景勝地「種差海岸」。葦毛崎展望台から種差天然芝生地まで5.2kmの遊歩道が整備されており、気軽に散策やトレッキングが楽しめます。

■交通／種差海岸駅より徒歩約３分で種差海岸天然芝
■問／八戸市観光課☎0178-46-4040
■HP／www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko/nature/tanesashi/

笑顔が売り

タシロばばちゃのお店

階上岳山麓の無添加・無農薬の手作り加工品、山菜や農産物の直売所。昔の農機具や生活用品も展示・販売しています。近くには田代せせらぎ公園や階上岳の遊歩道もあり、自然を肌で感じる事ができます。

■開店／土・日・祝祭日
■営業時間／9:30～17:00
■交通／階上駅より車約30分
■問／タシロピア実行委員会 ☎0178-88-2790

南部町えんぶりとせんべい汁を堪能

八戸市●

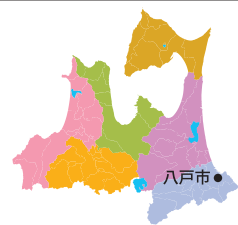
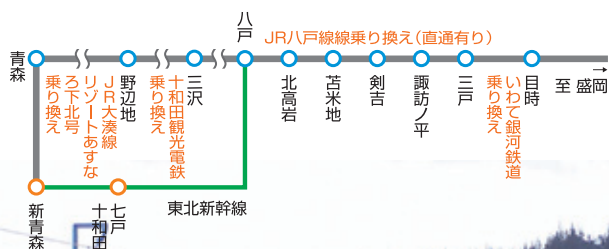
青森　野辺地　三沢　八戸　北高岩　苫米地　剣吉　諏訪ノ平　三戸　目時　至 盛岡

JR八戸線線乗り換え（直通有り）

JR大湊線 リゾートあすなろ下北号 乗り換え

十和田観光電鉄 乗り換え

いわて銀河鉄道 乗り換え

新青森　七戸十和田　東北新幹線

青い森鉄道

八戸駅～目時駅を結び、ほぼ国道4号と並行して走っています。南部町と三戸町の、八戸以南の主要2町にアクセスし、南部地方の名峰「名久井岳」を車窓から楽しむことができます。沿線の町は果樹栽培が盛んな地で、南部町（剣吉駅下車）にあるバーチャル村「達者村」での体験メニューは好評を得ています。また「法光寺」の三重の塔や、南部氏宗家の本拠地として栄えていた三戸城跡がある城山公園など、歴史的にも貴重な史跡を残す場所が点在します。

■問／☎0178-21-3131 ■HP／www.aoimorirailway.com/

冬の伝統行事
南部地方えんぶり

県南地方を中心に行われる冬の伝統行事「えんぶり」。起源には諸説ありますが、歴史が古くいつしか豊作祈願に変わっていきました。「えぼし」をかぶった大夫達が音頭トリの唄に合わせて勇壮な摺りを披露します。昭和54年に国の重要無形文化財に指定されています。

■期間／2月中旬
■場所／南部芸能伝承館野外広場
■交通／剣吉駅より徒歩約2分
■問／南部町商工観光課☎0178-76-3230
■HP／www.nanbu-town.net.pref.aomori.jp/

じゅねもち

秘伝のたれが決め手
名川センターハウス

自慢の「せんべい鍋」は、南部せんべいと野菜を肉と魚の秘伝のたれで煮込んでいますので、あっさりとした味ながらコクのある郷土料理を味わえます。

■開館／9:00～21:00
■休館／水曜、年末年始
■交通／諏訪ノ平駅より車約7分
■問／☎0178-76-3220
■HP／www.nanbu-town.net.pref.aomori.jp/guide/00000028/00000350.html

懐かしい伝統の味
串もちとせんべい汁

地元で採れたじゅうね（エゴマ）と手作り味噌を合わせて焼いた串もちや、地鶏シャモロックのだしに地元野菜、老舗店のかやき煎餅を使用したせんべい汁を味わえます。

■問／お食事処ふじ村（道の駅さんのへ内）
☎0179-22-0600

ひと足はやい春を感じて
北国の"いちご狩り"

達者村農家が丹精込めて育て上げた、粒が大きくおいしいいちご。ハウスに入った時に感じる甘い香りや、食べた時の甘酸っぱさを心ゆくまでお楽しみください。甘い香り漂うハウス内で、赤々と実った甘酸っぱくおいしいいちごが60分食べ放題！（お持ち帰りは別料金）

■期間／1月中旬～6月下旬（要予約）
■開館／10:00～16:00
■料金／一般1,500円
■交通／剣吉駅より車約15分
■問／ながわ農業観光案内所
☎0178-76-3020
■HP／nkankoutasyamura.web.fc2.com/

馬肉鍋とシャモロック鍋 五戸の旨いものを満喫

低カロリー・高タンパクのヘルシーフーズ
馬肉料理

身の色が鮮やかな桜の花に似ているため「さくら肉」とも呼ばれる馬肉。グリコーゲン、必須アミノ酸を効率よく含んでおり、健康食品として貧血気味の方には特におすすめ。
■場所／五戸町内
■問／五戸町企画振興課☎0178-62-7952

青森県地鶏の代表格
青森シャモロック

キメが細かく、深みのある濃厚な味わい。味よし、ダシよし、歯ごたえよしの三拍子揃った理想の味を楽しんでください。
■場所／五戸町内
■問／五戸町企画振興課
☎0178-62-7952

雪中に灯る温かな光
なんごう雪ほたる祭り

雪を利用した灯籠や雪山、かまくらなどに灯した温かみあるローソクの炎が、幻想的な世界を作り出します。南郷区内の3会場で、それぞれの雰囲気を楽しめます。
■期間／2月19日・20日
■時間／10:00〜20:00
■場所／八戸市南郷区各所
■交通／南郷ICより車約3〜10分
■問／グリーンプラザなんごう
☎0178-82-2902
■HP／www.jazz.nango-net.jp/~gpnrost/

小正月の伝統行事
まゆ玉作り

小正月に行われる伝統行事で、農作物の豊作を願って道の駅内に飾ります。来場者にまゆ玉付き小枝をプレゼント。参加体験もできます。
■期日／1月15日
■時間／9:00〜
■場所／道の駅なんごう直売所
■交通／南郷ICより車約3分
■問／ヤッサイなんごう友の会
☎0178-82-2908
■HP／www.jazz.nango-net.jp/~gpnrost/

まゆ玉作り

農の雛祭り

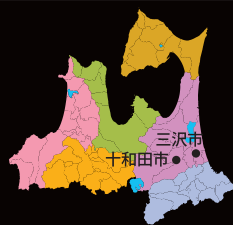
この時期だけの野菜雛
農の雛祭り

細部まで野菜にこだわった、手の込んだお雛様や吊り雛を展示。長期保存がきかない野菜雛は、この時期だけの貴重なお雛様です。
■期間／2月19日〜3月3日
■時間／9:00〜
■場所／道の駅なんごう直売所
■交通／南郷ICより車約3分
■問／ヤッサイなんごう友の会
☎0178-82-2908
■HP／www.jazz.nango-net.jp/~gpnrost/

東北新幹線・七戸十和田駅より
文化の街巡りと秘湯、雪の楽園へ

●十和田市 ●三沢市 ●野辺地町 ●七戸町 ●六戸町 ●横浜町 ●東北町 ●六ヶ所村 ●おいらせ町

鷹山宇一記念美術館

鷹山宇一の作品、氏の貴重なコレクションも展示

現代日本の希有な幻想画家と称された故鷹山宇一氏の油彩画をはじめ、画伯が集めた19世紀後半西洋、20世紀初頭日本の装飾オイルランプ、見町観音堂・小田子不動堂の国指定重要有形民俗文化財の小絵馬等、数々の作品を展示しています。

■開館／10:00～17:30（閉館は18:00）
■休館／月曜（祝日の場合翌日）
■料金／一般500円
■交通／七戸十和田駅より徒歩約7分
■問／☎0176-62-5858
■HP／www.takayamamuseum.jp/

鷹山賞児童作品展10周年記念「濱田進展／鷹山賞10年のあゆみ展」

青森県南部地方の小中学生に公募する絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」の10回展を記念し、歴代の鷹山賞受賞作品を一堂に展覧。第1回展から審査委員長を務める二科会会員・濱田進氏による絵画展も開催します。

■期間／11月14日～1月23日

ミュージアムコレクション「七戸ゆかりの画家たち展」

鷹山宇一はもとより、当館収集作家として顕彰される鳥谷幡山、平野四郎、上泉華陽をはじめ、七戸町ゆかりの画家の作品を紹介します。

■期間／2月5日～4月17日

鷹山宇一記念美術館ものづくり体験講座

旅の思い出やプレゼントづくりに…。シルバーアクセサリーなど３種類の体験メニューが楽しめます。

※1日1組5名様（小学校3年生以上）限定です。3日前までに必ずご予約下さい。
※誠に勝手ながら当館2F工房が使用できる日に限ります。お客様のご要望にお応えできない場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

花文絵付け台卓上ランプ

アトリエ

七戸十和田駅より奥入瀬・十和田へ

十和田奥入瀬まるごとシャトル

七戸十和田駅～十和田市駅～十和田市現代美術館～焼山バス停～奥入瀬渓流館バス停～奥入瀬渓流自由散策（2時間）～子ノ口桟橋～休屋～休屋十和田荘までの「七戸十和田⇔休屋ルート」のほか、「十和田市駅⇔休屋ルート」などのコースがあります。十和田湖までの旅路をバスアテンダントがご案内します。

※最小催行人数2名、5日前までに要予約（予約のない場合は運休）、12月3日までは十和田市駅発着となります。

■期間／3月31日まで※運休日月曜（ただし、月曜祝日の場合、翌日運休）
■料金／片道2,500円・往復4,000円（七戸十和田⇔休屋ルート）※小学生以下は半額
■得典／十和田湖遊覧船乗船料割引（1,400円を1,200円）
■問／十和田電鉄観光社☎0176-23-6102

駅から始まる物語 七戸十和田駅より巡る芸術と文化

道の駅しちのへ「七戸町文化村」鷹山宇一記念美術館

馬産地のまち・馬文化の息づくまち 道の駅しちのへ「七戸町文化村」

道の駅に指定されている「七戸町文化村」。本州屈指の馬産地ならではの光景を至るところで目にすることができます。場内にはダービー優勝馬・ヒカルメイジとフェアーウインのブロンズ像が。他にもポニー群のモニュメントがあります。また、町出身の洋画家・鷹山宇一を記念した美術館には「絵馬館」が併設され、七戸町と馬との深い繋がりを体感することができます。その他にも近隣市町村の特産品を揃えた物産館や産直施設「七彩館」などでお買い物も楽しめます。

■開館／9:00〜18:00
■休館／年末年始、3月31日
■交通／七戸十和田駅より徒歩約7分
■問／☎0176-62-5777

旧正まける日。旧家の甘味処

300余年の伝統を誇る祭り
旧正まける日

商店街の買物まつりで、300余年の伝統があります。各商店での特売品販売のほか、豚汁・お汁粉・甘酒の無料サービス、雪像コンテストや太鼓演奏などが催され多くの人で賑わいます。

■期間／2月5日・6日 9:00〜
■場所／七戸町中央商店街
■交通／七戸十和田駅より車約5分
■問／七戸町商工会☎0176-62-2521
■HP／www.a-bbn.jp/shichinohe/

豪雪の地で幻想的なイベント
のへじ停車場ランタンまつり

雪でつくった迷路やすべり台を中心に、雪国ならではのイベントが展開。迷路の中に設置されたプラネタリウムは幻想的な時間を愉しめます。

■期間／2月5日
■時間／13:00〜20:30
■場所／野辺地観光PRセンター
■交通／野辺地駅前
■問／野辺地町駅前商店会のへじ停車場まつり実行委員会☎0175-64-3316 中谷米穀店

スノーシューで東八甲田を探索
しちのへ七里ウォーキング

七戸町営スキー場から東八甲田の広葉樹林を、スノーシュー(西洋かんじき)を履き、雪上をゆっくり散策。雪が積もり静寂に包まれる森の中では、動物の足跡を見つけたりカモシカや野うさぎに出会えるかも。スキー場営業期間中はガイドやレンタルスノーシューもあります(1,000円・要予約)。

■期日／2月13日 9:00〜13:00
■場所／七戸町営スキー場〜東八甲田家族旅行村(創造の森)散策
■交通／七戸十和田駅より車約10分
■問／南部縦貫株式会社 ☎0176-62-2131

のへじ停車場ランタンまつり

東北新幹線七戸十和田駅開業イベント

青森県の新たな玄関口となる七戸十和田駅。東北新幹線七戸十和田駅の開業日に、南口に隣接する観光交流センター屋内外において、ミニコンサートや特産品の販売を行い新駅開業を盛り上げます。

■期日／12月4日・5日 10:00〜
■場所／七戸町観光交流センター(七戸十和田駅南口)
■問／七戸町新幹線建設対策課☎0176-62-2137

七戸町観光交流センター(左)・東北新幹線七戸十和田駅(右)

東北新幹線・青い森鉄道

至 大湊
青森 JR奥羽本線・JR津軽線・リゾートあすなろ津軽号・青い森鉄道乗り換え
新青森 JR奥羽本線・青い森鉄道乗り換え
浅虫温泉
野辺地 JR大湊線・リゾートあすなろ下北号乗り換え
七戸十和田
千曳
乙供
上北町
小川原
三沢 十和田観光電鉄乗り換え
向山
下田
陸奥市川
八戸
目時 いわて銀河鉄道乗り換え
至→盛岡
東北新幹線

駅から始まる物語

三沢駅より巡る温泉と食

名物「ホッキ」と文化施設を愉しむ

青森の食がふんだんに楽しめる 古牧温泉青森屋

「かっちゃのばげまんま(お母さんの晩ご飯)」をテーマに、青森県の食材を使用した80種類の料理をバイキング形式で楽しむ「ぬくもり亭」や青森の三大祭りも楽しめる「みちのく祭や」など、自慢の温泉とともにゆったりとお過ごしいただけます。

■交通／JR三沢駅よりバス送迎
※八戸駅より送迎バス有り(要予約)
■問／☎0176-51-2121
■HP／www.komaki-onsen.co.jp

古牧温泉青森屋「浮湯」

古牧温泉青森屋「みちのく祭や」

古牧温泉青森屋「バイキング料理」

寺山修司記念館

奇才、寺山修司の一片を知る
寺山修司記念館

演劇や映画をはじめ詩や小説、作詞など幅広いジャンルで前衛的な創作活動を行った寺山修司。遺族から寄贈された遺品約12,000点を収蔵しています。記念館の入口には、「天井桟敷」の設立メンバーである横尾忠則氏がデザインしたマークがあり、外壁には寺山と交流のあった約30人のメッセージが添えられた陶板が貼り付けられています。

■開館／9:00～16:00(11月～翌3月)
■休館／月曜(祝日の場合翌日)
■交通／JR三沢駅より車約20分
■問／☎0176-59-3434
■HP／terayamaworld.com/

科学する心を育む
青森県立三沢航空科学館

飛行の原理や航空機の仕組みを体感できる装置や、ハイビジョン大型映像の上映なども あり、楽しみながら科学する心を育む施設。ほかに展望室、カフェも完備。

■料金／一般500円、高校300円、中学以下無料
■開館／9:00～17:00
■休館／月曜(祝日の場合は翌日)、12月30日～翌1月1日
■交通／三沢駅より車約15分
■問／☎0176-50-7777
■HP／www.kokukagaku.jp/

ホッキ丼の一例

肉厚！プリプリ！
三沢ほっき丼

市内各店のシェフが三沢特産のほっき貝を丼ぶりに。各店の工夫を凝らした味をお楽しみ下さい。

■期間／12月1日～翌3月31日
■場所／三沢市内
■問／三沢市観光物産課
☎0176-53-5111
■HP／hokkidon.misawasi.com

三沢(JR東北本線・青い森鉄道乗り換え)－大曲－柳沢－七百－古里－三農高前－高清水－北里大学前－工業高校前－ひがし野団地－十和田市

十和田観光電鉄

三沢駅～十和田市駅間14.7kmを11駅で結ぶローカル線。路線沿いには三農高前駅、北里大学前駅、工業高校前駅があり、通学の足として利用されています。三沢駅は昭和40～50年代風の雰囲気で、出発してすぐに古牧温泉の敷地内を通ります。路線沿いには田園風景が広がり、季節を感じ取ることができます。

■問／☎0176-23-3131 ■HP／www.toutetsu.co.jp/

駅から始まる物語

十和田駅より巡るアートの街

街がアートになった十和田市官庁街通り

建築とアートが一体となった 十和田市現代美術館

国内外で活躍するアーティストの建築や依頼制作によるアート作品を展示。今年4月にオープンした「官庁街通り野外芸術文化ゾーン」も必見。
■開館／9:30～17:00（入館は16:30まで）
■休館／月曜（祝日の場合翌日）、12月26日～翌1月1日
■料金／一般500円、高校生以下無料
■交通／十和田市駅より徒歩約20分
■問／☎0176-20-1127
■HP／www.city.towada.lg.jp/artstowada/

スガノサカエの図画展

山形在住の画家・スガノサカエの展覧会です。
■期間／11月20日～翌1月10日

十和田市現代美術館
「スタンディング・ウーマン」ロン・ミュエク

官庁街通り（写真はイメージです）

光のアートが広がる
アーツトワダウィンター イルミネーション2010-2011

アート広場に数十万個のLEDを設置。幻想的なイルミネーションを演出し、アート広場を訪れる誰もが「笑顔」になるような冬のイルミネーションを展開します。
■期間／12月4日～翌1月10日
■時間／17:30～22:00（31日のみ～24:00）
■場所／アート広場
■交通／十和田市駅より徒歩約20分
■問／十和田市観光推進課 ☎0176-23-5111

B-1グランプリ in HACHINOHE でグランプリ受賞
十和田バラ焼き

玉ねぎとバラ肉を醤油ベースの甘いタレで味わう、十和田市民のソウルフード。市内60店舗以上の飲食店で提供しています。
■問／十和田バラ焼きゼミナール事務局☎0176-24-1111
■HP／www.barayaki.com
道の駅奥入瀬では、十和田湖和牛100％使用した十和田バラ焼きが味わえます。
■問／味蕾館☎0176-72-3341
■HP／www.oirase.or.jp

おトクに行こう！
「ゆるりら十和田」クーポン券

事業参加宿泊施設にお泊まりの方に十和田市現代美術館、十和田市馬事公苑・称徳館、十和田市立新渡戸記念館の市内3施設の入館料無料サービスを実施。
■期間／12月1日～22日
■問／十和田市観光推進課 ☎0176-23-5111

十和田市現代美術館

十和田市馬事公苑・称徳館

十和田市立新渡戸稲造記念館

伝統工芸体験
道の駅とわだ

農家が作る地場産加工品が人気の道の駅とわだ。隣接する「匠工房」では、伝統工芸「南部裂織」の機織体験ができます。センターハウスでは地場産農産物や加工品を豊富に取り揃えている他、レストラン、軽食コーナー、公園もあり、一日中楽しめる道の駅です。
■交通／十和田市駅よりバス約20分
■問／☎0176-28-3790

十和田乗馬倶楽部
雪原乗馬トレッキング

十和田市郊外にある自然豊かな倶楽部。夏の光景とは装いを変えて、静かな時間が過ごせます。十和田乗馬倶楽部周辺の雪原コースを馬に乗って散策する60分のプログラムです。初めての方でも最初にレッスンを行いますので安心です。
■期間／1月12日～3月6日 ■休館／火曜
■交通／十和田市駅より車約10分
■問／☎0176-26-2945
■HP／www.jtng.com/thrc/

奥入瀬渓流冬の風物詩（氷爆）

雪と氷の楽園 奥入瀬渓流・十和田湖

駅から始まる物語

十和田市駅・青森駅より巡る奥入瀬・十和田湖

柔らかな冬の日差しを浴びた冬の奥入瀬

十和田湖温泉郷 — 奥入瀬ろまんパーク — 十和田市現代美術館 — 六　戸 — 八戸駅西口

八戸駅～奥入瀬～十和田湖 JRバス「おいらせ号」

●料金／￥2,600（八戸駅～十和田湖駅）●問／JRバス東北青森支店☎017-723-1621
●HP／www.jrbustohoku.co.jp/route/

ひめますを様々に味わう

東北新幹線全線開業記念 十和田湖ひめます祭り

十和田湖名物「ひまます」をそれぞれ特徴ある料理で提供する「ひめます料理祭」を開催。期間中は遊覧船が無料で乗船でき、湖上遊覧で墨絵の世界の十和田湖が堪能できます。

■期間／12月4日・5日、11日・12日
■場所／十和田湖畔休屋
■交通／十和田市駅よりバス約100分
■問／十和田湖国立公園協会
☎0176-75-2425
■HP／www.towadako.or.jp

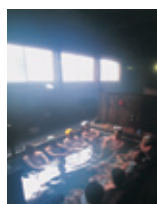
遊覧船と御倉半島

十和田湖・奥入瀬・八甲田のアウトドア体験

ノースビレッジ

滑らないスキー「スノーランブラー」を装着し、ガイドの案内でゆったりと雪の森の景観を楽しめます。

■申込／希望日の1日前まで要予約
■時間／①9:00～②13:30～
■料金／1人3,900円（2時間程度）
■場所／焼山ベースキャンプ
■交通／十和田市駅よりバス約45分
■問／ノースビレッジ☎0176-70-5977
■HP／www.novi.jp

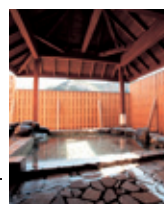
南八甲田・奥入瀬渓流・十和田湖の温泉

谷地温泉

開湯400年の山の一軒宿。木造の湯船と白濁の湯は秘湯の風情が漂います。

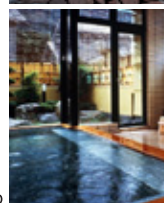
■問／☎0176-74-1181
■HP／www.itoenhotel.com/hotel/yachi/

蔦温泉

明治の古い佇まいが印象的。「泉響の湯」は、太い重厚な梁と高い天井が安らぎと開放感を与えてくれます。

■問／☎0176-74-2311
■HP／www.thuta.co.jp

十和田湖温泉郷

奥入瀬渓流の起点にあり、スキー場の下に旅館街が広がっています。

■問／十和田湖温泉郷観光協会
☎0176-74-2527

十和田湖畔温泉

休屋地区の約15軒のホテル・旅館・民宿等が温泉をひいています。

■問／十和田湖畔活性化事業協同組合
☎0176-75-3355
■HP／www.sinet.co.jp/towadako/

蔦温泉

花火が冬の夜を染めあげる

十和田湖冬物語2011 雪と光のファンタビスタ

郷土の文化や祭りを体験できるイベントのほか、郷土料理を堪能したり、かまくら内でお酒も楽ししめます。クライマックスには厳冬の十和田湖を染め上げる冬花火が打ち上げられます。

■期間／2月4日～27日
■時間／平日15:00～21:00
　土日祝11:00～21:00
■場所／十和田湖畔休屋特設イベント会場
■交通／十和田市駅よりバス約100分
■問／十和田湖国立公園協会
　☎0176-75-2425
■HP／www.towadako.or.jp

十和田湖冬物語・主なイベント

ステージアトラクション

メインステージでは、津軽三味線やねぶたハネト体験、なまはげ他、郷土色溢れる数々の芸能を見ることができます。

■毎日（19:00～19:45）

雪上車

普段は体験することができない、エキサイティングな乗り心地を楽しめます。

■毎日18:00～21:00

十和田湖食彩ドーム

ステージを楽しみながら、青森や秋田の食を堪能できます。

■平日15:00～21:00・土日11:00～21:00

ウインターバー

会場内にロマンチックな氷のカウンターを用意、グリューワイン等で冷たい体を温めてください。飲み終えたグラスは記念としてお持ち帰り頂けます。

■毎日（17:00～・¥500））

冬花火

凛とした透き通る冬空に打ち上げられる花火。漆黒の夜空に華開く光の乱舞は、ファンタジックな世界を作り出します。

■毎日（20:00～約10分）

冬の湖上遊覧

神秘的な佇まいを見せる冬の十和田湖を遊覧船で楽しんでみては。ターミナルには売店の他、そばコーナーや湖を一望できる無料休憩スペースを備えています。

■期間／ 12月1日～翌3月31日
■時間／ 8:00（12月4､5､11､12日特別運行）､9:00､10:00､12:00､14:00
■問／十和田遊覧船団体予約センター
　☎0176-75-2909
■HP／www.lakeship-towada.co.jp/

十和田湖俯瞰

十和田湖❄冬物語 2011
SNOW AND LIGHT FANTAVISTA
雪と光のファンタビスタ

乙女の像ライトアップ（イメージ）

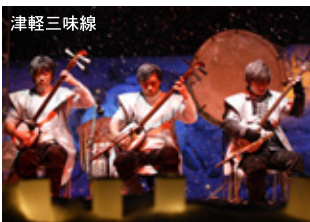
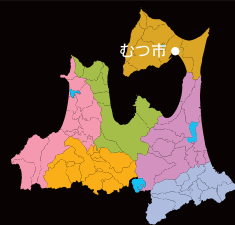
青森駅～八甲田～奥入瀬～十和田湖
JRバス「みずうみ号」

●料金／ ¥3,000（青森駅～十和田湖駅）
●問／ JRバス東北青森支店☎017-723-1621
●HP／ www.jrbustohoku.co.jp/route/

青森駅 → ヴィラシティ雲谷 → ロープウェイ駅前 → 城ヶ倉温泉 → 酸ケ湯温泉 → 谷地温泉 → 蔦温泉 → 焼山 → 石ヶ戸 → 子ノ口 → 宇樽部 → 十和田湖駅 → 十和田プリンスホテル

津軽三味線
天然温泉足湯
冬花火
食彩ドーム
かまくらBAR

本州最北の半島、下北
秘湯と旨いもの巡りの旅

むつ市●

駅から始まる物語

下北駅より巡るむつ市中心街

手業体験と味噌貝焼き

木目の芸術品 時雨彫り体験

削った後の木肌を晩秋の雨・時雨に見たてた「時雨彫り」は、数mm残した木の柾目を生かしてすかし彫りをする芸術品。地元産のヒバ・スギ材を使った体験です。

■時間／約30〜120分（要予約）
■料金／400円〜
■交通／JR下北駅より車約10分
■問／中西建具センター「工房木の夢なかにし」☎0175-26-3778

気軽に伝統工芸を体験 下北南部裂織（さきおり）体験

それぞれの思い出を織り込んで、色とりどりの作品を作りましょう。

■時間／9:30〜16:00（約2時間、要予約）
■休館／月曜
■料金／1,000円
■場所／むつグランドホテル資料館
■交通／JR下北駅より車約15分
■問／下北南部裂織 ☎0175-22-2464
■HP／www.mghotel.jp/stroll/

蟹田〜新青森〜大湊を運行 リゾート列車「リゾートあすなろ」

東北新幹線新青森開業に合わせ、リゾートあすなろが青森と下北を結びます。環境に優しいハイブリッドシステム車両で、下北への旅が楽しめます。

■期間／12月4日運行開始

ぐるりんしもきた 観光ルートバス

下北半島の名所を一日でまわることの観光バス

●コース／大湊駅〜むつ来さまい館〜下風呂温泉〜大間崎〜津軽海峡フェリー〜下風呂温泉（自由入浴）〜下北駅〜尻屋崎（寒立馬）〜むつ来さまい館〜大湊駅

■期間／12月4日〜翌3月31日の土日祝祭日に運行。ただし12月24日、1月13日〜1月25日までの期間は平日も運行。（計46日間）
■料金／要問合
■問／下北観光協議会 ☎0175-22-1111

ホタテ・タラ・海藻を帆立貝で焼く 貝焼き王国、下北半島

貝焼(かや)きとは、「味噌貝焼き」のこと。15～20cmほどの大きなホタテ貝を器に、味噌と卵を主材料に煮焼きする料理をこの名前で呼びます。青森県内では、この料理を「貝焼き味噌」と言いますが、下北地域においては味噌と貝焼きが逆転し、「味噌貝焼き」とい言います。ホタテはもちろん、タラや海藻など旬の魚介類を調理して愉しみます。津軽海峡の旬の旨さをこの「味噌貝焼き」で味わってみてはいかが。

❶マツモの貝焼き。味噌味。
❷帆立貝の炭火焼き。醤油味。最もオーソドックスな貝焼き。
❸卵巣入り帆立の貝焼き。
❹布海苔の貝焼き。味噌味。
●むつ市内の飲食店か、各種イベントで提供しています。

芦崎湾

釜臥山を背に白鳥が舞う
芦崎湾

冬には県の天然記念物オオハクチョウが飛来し、訪れる人を和ませてくれる芦崎湾。アサリの宝庫としても知られており、年に一度潮干狩りが楽しめます。

■期間／12月頃～
■交通／大湊駅より車約15分
■問／むつ市商工観光課
☎0175-22-1111
■HP／www.shimokita-kanko.com

"かっちゃ"が作る芸術品
ベコ餅作り体験

巨大な金太郎飴のように、切るたびにカラフルな図柄が表れるベコ餅作りが体験できます。

■時間／約60分(要予約)
■料金／2,000円
■交通／下北駅より車約10分
■問／下北名産センター☎0175-22-3231

昔ながらの手焼きにこだわる
手焼きせんべい体験

旧南部藩に伝わる名菓「南部せんべい」。南部鉄器の焼型を使って、オリジナルせんべいを作ってみませんか。

■時間／30～60分(要予約)
■料金／1枚100円で5枚以上から体験可能
■交通／下北駅より車約10分
■問／八戸屋☎0175-22-3324
■HP／www.hachinoheya.co.jp/

下北最大のスキー場
釜臥山スキー場

目の前に広がる陸奥湾を眺めながら滑べることができ、また晴れた日には北海道も見渡せます。

■期間／12月下旬～翌3月
■交通／大湊駅より車約10分
■問／☎0175-24-1881

釜臥山スキー場

"下北風しゃぶしゃぶ"でいただくマツモ。

厳寒の2月頃、ごく限られた時期にしか採れないことから珍重される海藻「マツモ」。最も旨いといわれる食べ方に「下北風しゃぶしゃぶ」があります。味噌仕立てのスープにさっとくぐらせ、緑色になったらすぐにいただく。風間浦では、漬けダレにアワビの肝を味噌で溶いたものが何より旨いとのこと。ほかに三杯酢や味噌仕立ての鍋に入れることで豊かな風味を満喫することができます。

●「下北風しゃぶしゃぶ」はメニュー名ではありません。

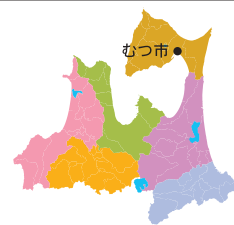
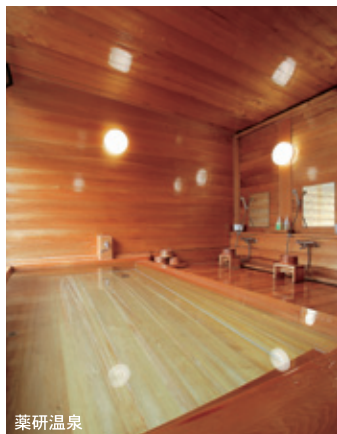
薬研行きのバス むつバスターミナル駅～大畑駅（1日18便）／大畑駅～薬研（1日1便）
※大畑駅よりタクシー有り

●問／下北交通☎0175-23-3111 ●HP／www.0175.co.jp/s/s-bus/mutsu-dn.html

駅から始まる物語

薬研・奥薬研温泉、湯野川温泉

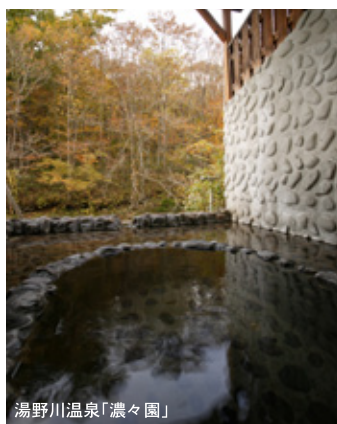
下北駅より巡る秘湯・名湯

奥薬研温泉「夫婦カッパの湯」

薬研温泉

薬研温泉

薬研温泉

下北半島の山あいにある静寂な温泉郷。「夫婦かっぱの湯」は、自然との一体感が魅力の野趣あふれる露天風呂です。

■交通／バスの駅大畑より車約20分
■問／むつ市役所大畑庁舎産業振興課
☎0175-34-2111

湯野川温泉「濃々園」

湯野川温泉「濃々園」

湯野川温泉

300年ほど昔、川内町泉龍寺の和尚によって発見された湯野川温泉。朝比奈岳の山あいにあり、周囲をヒバやブナの深い森に包まれています。映画「飢餓海峡」にも登場した静かな山の湯ですが、そんなひなびた雰囲気が人気を集めています。

■問／むつ市役所川内庁舎産業振興課
☎0175-42-2111

大畑名物

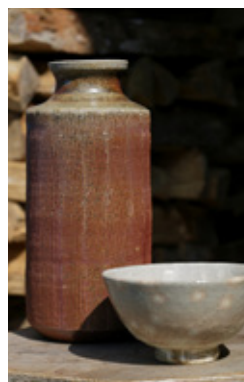
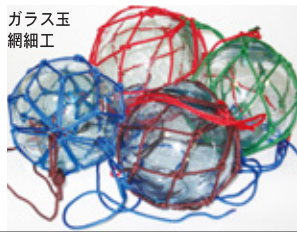
イカスミラーメン

麺にイカスミが練り込んであり、さっぱりとした塩味が美味。薬研遊歩道のほぼ終点にある奥薬研修景公園レストハウスでも食べられます。

ガラス玉網細工

昔ながらの漁具・ガラス玉を使った装飾品作り。親切な指導で簡単に作ることができます。オリジナルスタンプを押してプレゼントにいかが。

■時間／約50分（要予約）
■休館／月曜 ■料金／ 500円
■問／リフレッシュセンター鱈の里
☎0175-44-3252

ガラス玉
網細工

宇賀焼体験

川内地区の土を使い、赤松で焼き上げる素朴な風合いの宇賀焼。川内渓谷に近い工房では手軽に陶芸が楽しめます。

■期間／通年（要予約）
※予約により土日祝も開催
■時間／ 9:00～16:00
（絵付け体験：約30分、陶芸体験：約90分）
■料金／ 1,000円（送料別途）
■休館／土・日・祝日
■交通／川内庁舎より車約10分
■問／むつ市陶芸センター
☎0175-42-2115

駅から始まる物語

下北駅・大湊駅より巡る冬の旨いもの

いのしし肉と鱈（たら）料理 ふるさと薬膳料理を味わう

冬こそ旨い、脇野沢のいのしし おすすめは「ぼたん鍋」

鮮やかな紅赤で臭みのない肉、純白でやわらかく風味豊かな脂。いのししは、煮込むほどにやわらかく、かむほどに味が出ます。串焼き、ステーキ、バラ焼きなど料理のバリエーションも豊富。

■期間／11月～翌3月末（ぼたん鍋）
■問／むつ市役所脇野沢庁舎産業建設課☎0175-44-2111

脇野沢・川内行きのバス

脇野沢・川内へは、JRバス：田名部～大湊駅～川内駅～脇野沢
湯の川温泉へは（JRバス川内駅乗り換え）、川内交通：川内駅～湯野川

●料金／1,200円（田名部～川内町）、1,790円（田名部～脇野沢）、800円（町の駅かわうち～湯野川）
●問／JRバス東北大湊営業所☎0175-24-2146、川内交通☎0175-31-2800
●HP／www.jrbustohoku.co.jp/route/detail/?PID=1&RID=4

川内の名物料理
ふるさと薬膳料理

口福五膳

地域に伝わる郷土食をベースに作られたふるさと薬膳料理のおすすめは「口福五膳」。臓器に効能のある数種の膳があります。

■期間／4月～12月28日まで
※12名以上の団体は上記以外でも可。
■問／あっちゃのまま☎0175-42-5255

海軍料理が原型
大湊海軍コロッケ

旧海軍のコロッケのレシピをきっかけに話題を集めたコロッケが、一般に販売されることになりました。29店舗（2010年9月現在）のコロッケが「大湊海軍コロッケ」として認定され、旧海軍のレシピを再現したレトロなものからフレンチの技法を取り入れモダンにアレンジした様々なコロッケが販売されています。

■HP／www.pref.aomori.lg.jp/kensei/seisaku/kaigun_croquette.html

捨てるところが無い青森県を代表する冬の味覚 脇野沢で鱈（たら）三昧

脇野沢名物の「真だら」。鱈を一本丸ごと使い切る「鱈三昧」は絶品。身は、昆布でしめて刺身に、肝で和えた味噌で田楽に、白子は刺身や天ぷら、吸い物、チリ鍋に。やはり、身をおろした後の頭、中骨、内臓などに野菜を加え味噌仕立の鍋にした「じゃっぱ汁」は最高。魚の出汁の旨さを実感します。他にも押し寿司、味噌漬け、胃袋は塩辛に。メスの場合は卵は細切りにした人参と炒めて子和えに、と。丸ごと使い切る技術にも感動です。

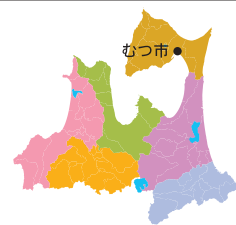
■期間／12月～翌2月頃
■問／むつ市役所脇野沢庁舎産業建設課☎0175-44-2111

白子の刺身、肝和えの味噌焼き、昆布締めの刺身

たつ（真鱈の白子）鍋

白子を入れたじゃっぱ汁

●問／風間浦村産業建設課☎0175-35-2111
●HP／www.kazamaura.jp

数百年ものあいだ湯治場として親しまれてきた下風呂温泉。津軽海峡を望む本州の北端をめぐる旅情。硫黄のにおいに包まれながら湯の街を歩き、海の幸に舌鼓。また、下風呂は井上靖の小説「海峡」の舞台ともなった場所。昭和33年に下風呂温泉郷を訪れ、宿泊し「海峡」の終局を執筆しました。終章では下風呂温泉郷が「いさり火の見える温泉」として紹介されています。

駅から始まる物語

下北駅より巡る海峡の食と温泉

鮟鱇（あんこう）料理と大間本マグロ 津軽海峡の硫黄泉を堪能

下風呂・大間行きのバス

下北駅～むつターミナル～大畑駅～下風呂～易国間～蛇浦～大間崎～大間～佐井車庫前

●時間／下北駅～下風呂：1時間10分、下北駅～大間崎：1時間35分
●料金／ 1,560円（下風呂～下北駅）、1,930円（大間崎～下北駅）
●問／下北交通むつ営業所☎0175-22-3221 ●HP／www.0175.co.jp/s/

防波堤よりみた下風呂温泉郷

鮟鱇鍋　鮟鱇の遊泳

鮟鱇の解体　鮟鱇の七つ道具

冬の高級魚
ゆかい村鮟鱇まつり

雪の上で捌く雪中切や鮟鱇が泳ぐユニークな姿は必見です。 鮟鱇鍋を低価格にて販売します。
■期間／1月中旬～3月上旬
■時間／ 11:00～14:00頃
■場所／下風呂温泉郷（ゆかい村）

本場の味覚
鮟鱇フルコースを味わう！

鮟鱇の故郷・風間浦。活きたまま漁獲された鮟鱇は鮮度抜群！郷土料理「鮟鱇の共和え」、「鮟鱇刺身」、各施設の特徴ある「鮟鱇鍋」や旨み充分の「アンキモ」など6品を堪能。運が良ければ生キモの刺身を食べられるかも。
■期間／12月11日～翌3月31日
※対象除外日は12月29日前後～翌1月7日
■料金／宿泊込：13,000～16,000円（1泊2日朝食付）、料理のみ：7,000円
■場所／下風呂温泉郷（ゆかい村）

鮟鱇フルコースの一例

温泉＆鮟鱇で、下風呂三昧
本場の鮟鱇鍋と名湯・下風呂温泉の入浴がセット

「鮟鱇鍋」＋「郷土料理・鮟鱇の共和え」＋「下風呂温泉入浴」で下風呂名物を満喫。味噌・塩・醤油と各施設の特徴ある鮟鱇鍋と下風呂温泉をゆっくり楽しんで。
■期間／12月1日～翌4月30日
※対象除外日は12月29日前後～翌1月7日
■時間／ 11:00～14:00頃
■料金／ 3,000円
■場所／下風呂温泉郷（ゆかい村）

鮟鱇の共和え

各施設、特徴様々な鮟鱇鍋

大間町の民宿での冬の料理（一例）

大間崎
活気と美味しさがあふれるまち

本州最北端、大間崎。マグロの一本釣りで港は活気に溢れています。町には寿司店や旅館、民宿なども多く、マグロをはじめ海の幸で楽しませてくれます。
■交通／大間崎下車
■問／大間産業振興課
☎0175-37-2111

鮪の水揚げ

大間の魅力をまるごと体験
大間マグロ食ツアーと ベコもち作り体験の旅

本州最北端、冬の大間町で旬のマグロを味わい、温泉で疲れを癒し、特産品のベコもち作りを体験。大間のマグロ漁の話や郷土芸能など大間町の自然・文化・味覚を余すところなく体験できます。
■期間／2月19日・20日
■料金／20,000円（予定）
■場所／大間温泉 海峡保養センター
■問／大間町産業振興課☎0175-37-2111
■HP／www.oma-wide.net/

ベコもち

大間温泉 海峡保養センター

青森と下北を結ぶ高速旅客船
ポーラスター

船体が大きく安定性が増した「ポーラスター」は、平成20年から就航しており、青森から最終港の佐井までを2時間20分で結びます。下北半島の秘境「仏ヶ浦」への観光航路をお楽しみいただけます。
■料金／大人3,460円（青森～佐井）
■航路／青森～脇野沢～牛滝～福浦～佐井:1日2往復（季節によって寄港地が異なります。）
※佐井～大間町:下北交通バスで約30分
■問／シィライン☎017-722-4545
■HP／www.sii-line.co.jp/

寒立馬と尻屋崎

厳冬の雪原に立ち、強風に耐える寒立馬。最果ての尻屋崎で力強く立ちつくす姿は、命の尊さと自然に生きるものの躍動を感じさせてくれます。また、寒立馬のいる尻屋崎は難破岬と呼ばれており、本州最北端に位置する尻屋崎灯台は、東北最古の洋式灯台。レンガ造りの灯台としては日本一の高さを誇ります。
■交通／むつ市より放牧地ゲートまで車約36分
■問／東通村水産課☎0175-27-2111

荒波に育まれた
布海苔（ふのり）採り体験

厳寒の津軽海峡で育まれた布海苔を干潮時に腰に籠を提げて採ります。布海苔の味噌汁は一度食べたら癖になる逸品。採ったものは全て持帰りできます（冷凍保存で約6ヶ月）。
※参加要件：下風呂温泉郷内で体験日の前後に、宿泊している方に限ります。
■期間／2月6日、2月20日、3月6日
■時間／10:00～12:00頃
■料金／2,500円（入湯料含）
■場所／下風呂温泉郷（ゆかい村）ほか

布海苔採り体験で、水蛸をゲット！（上）

味

温

青森デスティネーションキャンペーン

© 青森県観光連盟 2010

マスコットキャラクター
「いくべぇ」®

2011.4.23 SAT ～ 7.22 FRI

「行くたび、あたらしい。青森」（青森 DC キャッチフレーズ）

青森県には魅力的な旅のコンテンツが豊富にあります。何度訪れても「あたらしい発見」がある旅を、東北新幹線八戸ー新青森の開業でより身近に全国の方に楽しんで欲しい、という願いを込めて、「旅（たび）」と「度（たび）」とをかけてキャッチフレーズとしました。

自然体験・トレッキングイベント／おすすめコース

「街てく」でアスパムがお得(青森市)　12/1(水)～3/31(木) 毎週金・土・日・祝祭日　☎017-735-5311
「街てく」でアスパムに来館した方にもれなく特典を提供します。特典①県産の「そば茶」試飲サービス②アスパム優待証進呈。■場所:アスパム　http://www.aomori-kanko.or.jp/

東北新幹線全線開業記念「東北新幹線来青証明書発行」サービス(青森市)　12/4(土)～12/30(木)　☎017-735-5311
期間中、アスパムに来館した方で、新幹線で来青したことを示した方に、「東北新幹線による来青証明書」をもれなく発行します。証明書呈示で、割引サービスなどの特典を受けられます。■アスパム　http://www.aomori-kanko.or.jp

東青地域市町村PRイベント(青森市)　12/4(土)～1ヶ月程度 9:00～16:00　☎017-734-9412
東青地域の農林水産物・加工品の販売や、ご当地グルメ、観光、伝統芸能のPRを行ないます。
■場所:現青森駅前広場内特設会場

東北新幹線七戸十和田駅開業イベント(七戸町)　12/4(土)・5(日) 10:00～16:00　☎0176-62-2137
八戸駅と新青森駅の中間駅となる新駅では、郷土料理のふるまいや特産品販売また郷土芸能発表等により、賑わいを持たせながら来客者を歓迎します。■場所:七戸十和田駅屋内外

年末感謝祭(八戸市)　12/5(日)　☎0178-82-2908
直売所でお買い物していただいた方に、レシートと交換で景品のくじ引きを実施します。(先着200名)
■場所:道の駅なんごう直売所　www.jazz.nango-net.jp/~gpnrost/

クリスマスツリー飾り付け(八戸市)　12/5(日)～25(土)　☎0178-82-2908
他とはちょっと違った、野菜を使ったクリスマスツリーを設置します。
■場所:道の駅なんごう直売所　www.jazz.nango-net.jp/~gpnrost/

県民局まつり(青森市)　12/10(金)～12(日)　☎017-734-9412
県内各地域特産品の試食販売・PR、地産地消食堂や郷土芸能の披露などのイベントを開催します。
■場所:アスパム　www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/hi-renkei/

青森スイーツ・ノベンバー 2010フェア(青森市)　12/10(金)～12(日)　☎017-734-9412
青森スイーツ・ノベンバー 2010に応募したスイーツ等を出展・販売いたします。
■場所:アスパム　www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/hi-renkei/

あおもり国際版画トリエンナーレ2010展覧会(青森市)　12/11(土)～1/23(日) 10:00～17:00　☎017-761-4509
国際公募展として開催。入賞・入選作品を国際芸術センター青森のギャラリーに一堂に展示します。
■場所:青森公立大学国際芸術センター青森　www.city.aomori.aomori.jp/contents/triennale/

平川ねぶたまつり冬の陣(平川市)　12月中旬予定　☎0172-44-1111
夏に運行された扇ねぶたが冬にも運行！雪景色にねぶたの灯りがゆらゆらと揺れる様をぜひご覧ください。　www.city.hirakawa.lg.jp/

初代高橋竹山生誕100年記念メモリアルイベント(青森市)　12/23(木)　☎017-734-9412
初代高橋竹山生誕100年を記念して、弟子による三味線演奏や、思い出を語り、ゆかりの地の見学をします。■場所:青森公立大学講堂及び平内町　www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/hi-renkei/

冬休みイベント開催!(むつ市)　12/23(木)～1/16(日) 9:30～16:30　☎0175-25-2091
ビデオ上映や作って体験工作教室「マジック貯金箱をつくろう！」を行います。(料金:大人300円、高校生200円、小中学生100円、65歳以上と幼児は無料)■場所:むつ科学技術館　www.jmsfmml.or.jp/msm.htm

クリスマス特別ジャズライブ(八戸市)　12/23(木) 13:00～15:00(予定)　☎0178-82-2902
クリスマス特別ジャズライブを開催します。
■場所:JAZZの館南郷　www.jazz.nango-net.jp/~gpnrost/

道の駅なみおかアップルヒル「雪体験」(青森市)　12月下旬～3月上旬　☎0172-62-1170
冬のアップルヒル観光りんご園をメーンにりんご園散策やアップルパイづくり体験、地吹雪体験や雪国の遊び体験など、雪を体験していただきます。■場所:道の駅なみおかアップルヒル　www.applehill.co.jp

八甲田丸2011年カウントダウン(青森市)　12/31(金)～1/1(土) 22:00～25:00　☎017-735-8150
八甲田丸で新年のカウントダウンを。アマチュアバンド演奏や、餅つき大会、ビンゴ大会などイベントが盛りだくさんです。■八甲田丸　www7.ocn.ne.jp/~hakkouda/

竹浪比呂央ねぶた研究所 新春色紙展(青森市)　1月 ※1週間程を予定　☎090-3120-2429
ねぶた研究所の研究生が新春にちなんだ色紙を展示。また、ねぶたの骨組み作業の一部をご覧いただけます。■場所:竹浪比呂央ねぶた研究所　takenami.hiroo-nebutaken.com

アスパムお正月イベント(青森市)　1/1(土)・2(日) 9:00～18:00　☎017-735-5311
青森県ならではの「お楽しみ福袋」をお土産コーナー各店が販売。誰でも参加可能な「新春もちつき大会」を行ったり新春ならではの青森県の郷土芸能(三味線・民謡・手踊り等)を行ないます。■場所:アスパム　www.aomori-kanko.or.jp

観光農園(いちご)(八戸市)　1月上旬～5月下旬 9:00～16:00(要予約)　☎0178-82-2881
山間部にある南郷区は果樹の栽培が盛んで、南郷区特産のブルーベリーやいちご、りんご、さくらんぼ等の収穫体験ができます。1月上旬からはいちご観光農園がオープンします。(料金:2時間大人1,500円、小学生1,300円、幼児700円)

その他のイベント

スキー場感謝祭(七戸町)　1月上旬 10:00～　☎0176-62-5612
七戸町営スキー場にて子供たちを対象にした冬の遊びを体験してもらい、雪遊びを満喫していただきます。(料金:無料)■場所:七戸町営スキー場　sogamori.com/index.html

アスパムカレーまつり(青森市)　1/8(土)～10(月) 10:00～15:00　☎017-735-5311
県内のご当地カレーが大集合。県産食材を活かし開発されたオリジナルカレーや県内各店のカレーなどを出展します。また、お楽しみ抽選会も実施します。■場所:アスパム　www.aomori-kanko.or.jp

八甲田丸ファン感謝デー(青森市)　1/8(土)～10(月) 9:00～17:00　☎017-735-8150
ミニSL体験乗車や、鉄道模型ショー、かるた遊びなどが楽しめます。フードコーナーでは、お弁当やそば・うどんを提供いたします。(展示コーナー特別料金:大人400円、小・中・高校生・幼児無料)■場所:八甲田丸　www7.ocn.ne.jp/~hakkouda/

津軽半島十三湖「トーサムアドベンチャー」(五所川原市)　1/10(月)～2/10(木) 10:00～15:00　☎0173-62-3556
十三湖の冬景色散策と白鳥や大鷲等の渡り鳥のウォッチングや、丘陵地をスノーチューブで遊ぶエキサイティングコースはスリル満点です。(料金:ツーリング大人1,500円、小人800円、エキサイティングコース大人1,000円)■場所:道の駅十三湖高原トーサムグリーンパーク　www.tosam.co.jp/

大興奮!!ねぶた運行ショー(青森市)　1/15(土)～2/28(月) 10:00～17:30　☎017-738-1230
実際のねぶた祭りを再現するお客様参加型の体験ショーを毎日開催！(料金:大人420円、中学生310円、小学生150円)■場所:ねぶたの里　www.nebutanosato.co.jp

青森りんごのかまくら村(青森市)　1/15(土)～2/28(月) 10:00～17:30　☎017-738-1230
全部で十数基製作される雪の家「かまくら村」には、水神様や青森りんごが各品種ごとに飾られておりそれぞれのりんごの色、形、かおりを楽しむことができます。(料金:大人420円、中学生310円、小学生150円)■場所:ねぶたの里　www.nebutanosato.co.jp

企画展「新収蔵資料展」(青森市)　1/15(土)～3/13(日)9:00～17:00　☎017-739-2575
平成22年度の冬は、青森県近代文学館が近年、寄贈を受けた資料の中から、貴重な数々を紹介する「新収蔵資料展」を開催します。(料金:無料)■場所:青森県近代文学館　www.plib.net.pref.aomori.jp/top/museum/

元気なかっちゃの味自慢・うで自慢(青森市)　1/22(土)・23(日) 10:00～15:00　☎017-735-5311
東青地域の農家や漁師のおかあさん達が作った自慢の加工品、農産物が大集合。東青地域ならではの味・技を紹介します。■アスパム　www.aomori-kanko.or.jp

企画展　芸術の青森展(仮称)(青森市)　1/22(土)～3/21(月) 9:30～17:00　☎017-783-3000
より多くの人々が「魂の故郷」としての青森県の文化に触れてもらえるよう、豊かな自然とたくましく個性的な人々が育んできた「芸術の国」青森を紹介します。■青森県立美術館　www.aomori-museum.jp/

第8回細野相沢冬物語(青森市)　2/5(土) 17:00～19:00　☎0172-62-1147
山間の小さな集落「細野相沢地区」で開催している、地元の方々手づくりのイベント。ろうそくと焚き火の幻想的な雰囲気の中でおばあちゃん達手づくりの田舎料理を楽しめます。(料金:前売券大人2,000円、小・中学生500円)■場所:「細野山の家」前広場

青森冬まつり(青森市)　2/5(土)・6(日) 9:00～16:00　☎017-741-6634
大型すべり台や動物ふれあいコーナー、餅つき体験・餅の振る舞いなどお楽しみがいっぱいです。
■場所:合浦公園　www.park-mente.jp/

旧正マッコ市(黒石市)　2/6(日)　☎0172-53-6030
古くから、毎年、旧正月に合わせ行っている「マッコ市」商品の値段を値引きし、さらに「マッコ(お年玉・おまけ)」も付いてきます。■場所:市内商店・量販店・スーパーマーケット

青森県営スケート場"氷まつり"(青森市)　2/11(金) 10:30～16:00　☎017-739-9500
初心者スケート指導タイムや、地元フィギアスケートクラブによるエキシビジョンなど楽しんでいただけます。■場所:青森県営スケート場　www.jomon.ne.jp/~skate01/

アスパム冬まつり～青森の鍋大集合～(青森市)　2/11(金)～13(日) 10:00～15:00　☎017-735-5311
青森ならではの旬の食材を使った鍋(あんこう鍋、いのしし鍋、せんべい汁、じゃっぱ汁、ひっつみ等)を販売します。■場所:アスパム　www.aomori-kanko.or.jp

浪岡城落城432年記念 やぶこぎ大会(青森市)　2/11(金)　☎0172-62-1020
中世の里・なみおかの象徴である「国指定史跡 浪岡城跡」で、雪国の冬ならではの「やぶこぎ」の体験ができます。(料金:高校生以上500円、中学生以下300円)■場所:中世の館のぼりの広場

Ａｌｅｋｏ２０１０　ダンサー・俳優・演奏家による(青森市)　3/4(金)・5(土)・6(日)　☎017-783-3000
青森県立美術館オリジナル作品『Ａｌｅｋｏ２０１０　ダンサー・俳優・演奏家による』をアレコホールで公演。青森県立美術館はシャガールのバレエ背景画「アレコ」三点を所蔵する世界で唯一の美術館です。■場所:青森県立美術館　www.aomori-museum.jp/

スプリングジャズライブ(八戸市)　3/22(火) 13:00～15:00　☎0178-82-2902
スプリングジャズライブを無料で開催します。
■場所:JAZZの館南郷　http://www.jazz.nango-net.jp/~gpnrost/

企画展　青木淳×杉戸洋展(仮称)(青森市)　4月中旬～6月中旬 9:30～17:00　☎017-783-3000
青森県立美術館を設計した建築家・青木淳と現代絵画の最前線を走る画家・杉戸洋が組んで、美術館を舞台に、建築空間と絵画世界が溶け合った夢の場所を創造します。■場所:青森県立美術館　www.aomori-museum.jp/

雪景色に映えるりんご
道の駅なみおか・雪体験

神秘的な雪見りんごや雪むろりんご自然貯蔵が観られる「冬の観光りんご園散策」や、農家のお母さん方が指導する「アップルパイづくり」(700円、3日前要予約)、かく巻き等を装備しての「地吹雪体験」など、観光りんご園をメイン会場に、青森の冬を体験できます。
■期間／ 12月下旬～翌3月上旬
■休館／ 1月1日
■交通／浪岡ICより車約7分
■問／道の駅なみおかアップルヒル☎0172-62-1170
■HP／ www.applehill.co.jp/

雪深い山里で温もりにふれる
細野相沢冬物語

山間の小さな集落「細野相沢地区」。ろうそくと焚き火の幻想的な雰囲気の中で、おばあちゃん達手作りの田舎料理を味わえます。また、郷土芸能のステージや打上げ花火もあり、敷地内の「細野相沢温泉・山の湯」にも入浴することができます。
■期日／2月5日 17:00 ～ 19:00
■料金／一般2,000円(前売)
■交通／当日送迎バスを運行予定
■問／青森市役所浪岡事務所地域づくり振興課
☎0172-62-1147　細野山の家☎0172-62-3129

厳寒の奥津軽を体感
トーサムアドベンチャー

十三湖の冬景色散策と白鳥や大鷲等の渡り鳥をウォッチング。道の駅十三湖高原から湖畔をスノーモービルが牽引するラフティングボードに乗り、雪国を滑走するツーリングコース(往復6km、1,500円)と丘陵地のスノーチューブで遊ぶエキサイティングコース(3km、1,000円)があります。冬そりで遊べるコースも用意。
■期間／ 1月10日～2月10日
■場所／道の駅十三湖高原
■交通／浪岡ICより車約80分
■問／☎0173-62-3556 ■HP／ www.tosam.co.jp/

民・工芸等の体験　産業・文化等の体験　祭り・神事等の祭事　食のイベント・体験

名称	期間・時間	電話
青森自然公園ねぶたの里（青森市）	通年 9:00～17:30（冬期10:00～17:30）	☎017-738-1230
約13万坪の大自然の中に、大型ねぶた10台を常設した「ねぶた会館」、世界の火祭り「ねぶた」のことなら何でもおまかせのねぶた総合施設。（料金：大人630円、中学生420円、小学生210円・冬期大人420円、中学生310円・小学生150円）		www.nebutanosato.co.jp
みちのく大太鼓・お囃子体験（青森市）	通年 冬期（1月15日～2月末日）	☎017-738-1230
腹の底まで響く大きな音と迫力を体験。ご自分で迫力ある音を叩きだせるので誰もが楽しむことができます。■場所：青森自然公園ねぶたの里		www.nebutanosato.co.jp
ねぶた製作技術見学（青森市）	通年 冬期（1月15日～2月末日）	☎017-738-1230
ここでは、ねぶた作りの専門家「ねぶた師」がねぶたの制作をしています。骨組みや紙はり、色つけなどねぶたの制作技術が見学できます。■場所：青森自然公園ねぶたの里		www.nebutanosato.co.jp
紙貼りねぶた製作技術体験（青森市）	通年	☎017-738-1230
青森ねぶたは、和紙と針金の芸術と言われており、ねぶた師がすべて手作業でねぶたを作ります。その中でも体験が難しい「紙貼り」の作業の体験ができます。■場所：青森自然公園ねぶたの里		www.nebutanosato.co.jp
手作り体験コーナー（青森市）	通年 冬期（1月15日～2月末日）	☎017-738-1230
自分自身のおみやげに、世界にたった一つのオリジナルを作ろう。（料金：金魚ねぶたの色つけ1,050円、津軽だんぶり絵付1,050円、竹とんぼ絵付200円、ハート型根付300円）■場所：青森自然公園ねぶたの里		www.nebutanosato.co.jp
青森りんごのかまくら村（青森市）	通年 10:00～17:30（最終受付17:00）	☎017-738-1230
全部で十数基制作される雪の家「かまくら村」には、水神様や青森りんごが各品種ごとに飾られており、りんごの色・形・かおりを楽しめます。（料金：大人420円、中学生310円、小学生150円）■場所：青森自然公園ねぶたの里		www.nebutanosato.co.jp
青森雪国体験（青森市）	1月15日～2月末日 10:00～17:30	☎017-738-1230
雪国青森伝統衣装を着て、雪ヤブを歩いたり、かまくら穴掘り体験、雪片付け体験、雪のすべり台体験などがあります。（料金：大人420円、中学生310円、小学生250円）■場所：青森自然公園ねぶたの里		www.nebutanosato.co.jp
みちのく北方漁船博物館（青森市）	3月25日～11月30日 9:00～16:30	☎017-761-2311
国の重要無形民族文化財67隻を中心に、約200隻の木造船や漁具、エンジンなどを収蔵展示します。日本で最大の漁船の博物館です。（入館料：350円）		www.mtwbm.com
宙吹きガラス製作体験（トンボ玉）（青森市）	通年 8:00～11:00、13:00～16:00（要予約）	☎017-782-5183
トンボ玉とよばれるビー玉程の大きさのガラス玉作りの体験です。初めての方、お子様の冬休みの工作にもおすすめです。（料金：1,260円）■場所：北洋硝子㈱		www.tugaru-vidro.co.jp/
青森市幸畑墓苑（幸畑陸軍基地・八甲田山雪中行軍遭難資料館）（青森市）	通年 9:00～18:00（冬季は16:30まで）	☎017-728-7063
青森市幸畑墓苑には、「幸畑陸軍基地」、「八甲田山雪中行軍遭難資料館」、「殉国英霊之塔」などがあり、市民の憩いの場として広く親しまれています。（料金：（資料館）一般260円、大学・高校生130円、70歳以上と中学生以下は無料）		
古川市場お買物券（青森市）	通年	☎017-734-1311
新鮮な魚介類がならぶ古川市場で使える、旅行商品のセットまたはオプションとして利用できる特典付きお買物券を販売します。（お買物券：1,000円）■場所：青森魚菜センター		
あおもりスイーツと温泉（青森市）	通年 スタート時間9:00～14:00	☎017-743-0385
浅草焼き・パンプキンパイ・久慈良餅の三つのスイーツ巡りと温泉入浴。（料金：6,000円）■申込先：三八五観光タクシー株式会社		
お気軽タクシー（おタク）とスイーツ（青森市）	通年	☎017-743-0385
少しお時間が有る時、お気軽に観光スポットを見学し、おすすめのスイーツをご堪能いただけます。■申込先：三八五観光タクシー株式会社		
北の自然を極める「馬のある旅」（青森市）	通年（要予約）	☎017-728-1779
冬の静寂の中で、馬の呼吸を感じ、澄んだ空気を味わう。雪原には野生動物の足跡があったりと、夏とは違った発見、楽しみがあります。（料金：4,800円）		www18.ocn.ne.jp/~aomorirc/arctopmene.html
山の楽校（八戸市）	通年 8:30～16:30	☎0178-82-2222
山の楽校は廃校になった小中学校を利用した体験交流施設。南郷特産のそばを使ったそば打ち体験を中心に、せんべい焼き体験、豆腐、味噌作り体験などが行われています。		www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/10,5158,33,html
青葉湖（八戸市）	通年	☎0178-82-2111
新井田川の上流に造られたダム湖（世増ダム）の愛称が青葉湖です。冬の雪景色や春の新緑など、四季を通じて景色の移り変わりを楽しむことができる絶好のポイントです。また、この湖には新世増橋が架けられており、この橋からの眺めは格別です。		
蕪島（八戸市）	通年	☎0178-46-4040
ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されている蕪島には、毎年3月上旬に約3万羽のウミネコが飛来し、南方に旅たつ8月上旬まで島にはウミネコの鳴き声が響き渡ります。		
芦野公園（五所川原市）	通年	☎0173-34-9555・35-2111
作家・太宰治が少年の頃よく遊んだ場所として知られている芦野公園は、「日本さくら名所100選」にも選ばれており、春には約2,200本もの桜が咲き誇ります。		www.goshogawara.net.pref.aomori.jp/

名称	期間・時間	電話
津軽三味線会館（五所川原市）	通年 9:00～17:00（11月～4月）	☎0173-54-1616
津軽三味線発祥の地、五所川原市金木町。津軽三味線の歴史、民謡、郷土芸能等を紹介する展示室をはじめ、生演奏を聴くことや、津軽三味線の体験指導を受けることができます。（料金：一般500円、高・大300円、小・中200円）		www.kanagi-gc.net/syami/index.html
道の駅とわだ（十和田市）	通年	☎0176-28-3790
道の駅とわだに隣接する「匠工房」にて伝統工芸「南部裂織」の機織体験ができます。センターハウスでは地場産農産物や加工品を豊富に取り揃えている他、レストラン、軽食コーナー、公園もあり、一日中楽しめる道の駅です。		
花のや（平川市）	通年 11:00～17:00	☎0172-57-2870
呉汁、黒豆ご飯など旬の素材を活かした手作りの家庭料理を地元の主婦の方が提供しています。（料金：黒豆ごはん1,575円～）		
産直センターひらか（平川市）	通年	☎0172-43-1831
春には地元の旬の山菜（こごみ・うど・たらの芽など）が各種販売されています。（料金：無料、研修室有料）		
ベンセ湿原（つがる市）	通年	☎0173-42-2111（内線431）
ベンセ湿原は面積約23ヘクタール（東京ドーム約5つ分）もの大規模な湿原です。また湿地性のラン類や高原湿原でなければ見られないモウセンゴケなど見ることができます。		www.city.tsugaru.aomori.jp/
平滝沼公園（つがる市）	通年	☎0173-42-2111（内線431）
平滝沼公園は、まるで高原にいるような心地よさ。家族連れの憩いの場としてはもちろんのこと、小学校の遠足にも利用されています。また平滝沼は、春は見事な桜が咲き花見を楽しむ人で賑わいます。		www.city.tsugaru.aomori.jp/
階上岳トレッキング（階上町）	通年	☎0178-88-2111
標高740mで初心者にも登りやすい山です。8合目まで車で行くと頂上まで約20分、登山口から登っても約2時間半です。5月下旬頃から山の8合目大開平には天然の山つつじが咲き誇り、登山客の目を楽しませています。（料金：無料）		hashikami01@net.pref.aomori.jp
青函トンネル記念館（外ヶ浜町）	通年	☎0174-38-2301
世界最長の海底トンネルの構想から完成までを音と映像、それに資料パネル、立体モデルなどわかりやすく展示公開しており、青函トンネルの全てをダイナミックに体験することができます。		
龍飛岬観光案内所 龍飛館（外ヶ浜町）	通年	☎0174-31-8025
作家太宰治、N君、棟方志功ゆかりの宿「旧奥谷旅館」が、龍飛岬観光案内所として、生まれ変わりました。太宰治が友人N君と過ごした宴席の再現や青森市出身の版画家棟方志功を紹介するコーナーなどが展示公開しています。		
金魚ねぶた絵付け体験（鰺ヶ沢町）	通年（要予約）	☎0173-72-8111
骨組みは作成しております、基本的には絵付けになっておりますので、お子様から体験できます。（料金：1,500円）■場所：ホテルグランメール山海荘館内		
よもぎ温泉（蓬田村）	通年 9:00～21:00	☎0174-27-2170
140人収容の大浴場と村特産品の薬草を使ったイベント湯、打たせ湯、サウナを備えた温泉です。ゆっくり自然を満喫した後は、のんびりゆったりと温泉でひと休み。（料金：大人350円、中人（小・中学生）140円、小人60円）		
村の駅 よもっと（蓬田村）	通年 8:00～18:00	☎0174-31-3115
国道280号バイパス沿いの物産販売施設で、食堂や近隣の農産物、陸奥湾内で獲れた鮮魚を販売しています。活魚の大きな生けすがあり、店内の食堂では新鮮な刺身定食が食べられます。		
よもぎた物産館マルシェ（蓬田村）	通年 8:00～18:00 冬期間9:00～17:00	☎0174-31-3040
村特産品のトマトとほたての大きな看板が目印、新鮮な農産物や鮮魚を販売しています。陸奥湾を眺めながら食事や買い物を楽しんだり、ドライバーの疲れを癒すポイントとして利用できます。		
青森の味をギューと濃縮（青森市）	8/1（日）～平成23年3月末 16:00～24:00	☎017-745-4242
屋台村ならではの1店舗では味わえない様々な味で青森を体験。屋台村スタンプラリーで3店舗まわったお客様に飲み物1杯サービス。■場所：青森屋台村・さんふり横丁		www.aomori-yataimura.com
盛美園（平川市）	4月中旬～11月中旬 8:00～17:00	☎0172-57-2020
明治35年から9年の歳月をかけて作庭された津軽地方独特の「大石武学流」を代表する国指定名勝の庭園です。（料金：一般400円、中・高校生250円、小学生150円）		www.seibien.jp/
あおもり光のファンタジー（青森市）	11/6（土）～	☎017-735-5311
青森県観光物産館アスパム街側壁面を動きのあるLED照明でライトアップ。新町近郊や八甲田丸、ねぶたの家ワ・ラッセ等と連携しウォーターフロントエリアの夜間を彩ります。		www.aomori-kanko.or.jp
芦崎湾（むつ市）	12月頃～	☎0175-22-1111
毎年、冬になると、県の天然記念物オオハクチョウが飛来し、訪れる人を和ませてくれます。また、芦崎湾はアサリの宝庫としても知られ、年に一度潮干狩りを楽しむこともできます。		www.shimokita-kanko.com/
Suicaキャンペーン（青森市）	12/1（水）～30（木）※なくなり次第終了	☎017-735-5311
アスパム各店舗で「Suica」のご利用金額1,000円で1回抽選できる抽選会を実施します。当選者には「Suica」オリジナルグッズ等をプレゼント。■場所：アスパム		http://www.aomori-kanko.or.jp/

幻想的な趣が楽しめる
青森りんごのかまくら村

雪の家「かまくら村」には、水神様や青森りんごが各品種ごとに飾られており、それぞれのりんごの色や香りを楽しむことができます。また、伝統衣装を着て、かまくら穴掘り体験や雪片付け体験、全長50mの雪のすべり台など、ご家族様で雪国情緒をお楽しみいただけます。

■期間／1月15日～2月28日
■場所／青森自然公園ねぶたの里
■交通／青森駅より車約30分
■問／☎017-738-1230
■HP／ www.nebutanosato.co.jp

アスパム冬まつり
青森の鍋大集合

青森ならではの旬の食材を使った鍋（あんこう鍋、いのしし鍋、せんべい汁、じゃっぱ汁、他）が大集合。「田舎のかっちゃ食堂」では東青地域の食材で作った料理を味わえます。また、同時開催の中泊町の物産コーナーではイカ釣り体験、かまゆでたこ実演を実施。

■期間／2月11日～13日
■場所／青森県観光物産館アスパム
■交通／青森駅より徒歩約7分
■問／青森県観光連盟☎017-735-5311
■HP／ www.aomori-kanko.or.jp/

北の自然を極める
馬のある旅

雪原には、野生動物の足跡があったりと、夏とは違った発見や楽しみがあります。乗馬が初めての方でも楽しめる「ワクワク乗馬体験コース（45分）」では、乗馬の基礎を学んだ後、周辺をゆっくり歩きます。経験者の方には、八甲田コースなどウィンタートレッキングがお勧めです。（時間・料金要問合、要予約）
※駅、空港、ホテルへの送迎はご相談ください。

■休館／火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
■交通／青森中央ICより車約20分
■問／青森乗馬倶楽部☎017-728-1779
■HP／www18.ocn.ne.jp/~aomorirc/arctopmenu.html

あおもりの情報を検索

青森県観光情報ホームページ(アプティ・ネット)

青森県の観光情報なら、ここからアクセス。名所、祭り、イベント、食、温泉、四季の花…。もっと青森県を知っていただくために3,000を超える観光情報を詰め込みました。英語・韓国語・中国語にも対応！情報検索、地図情報、公共交通情報など、便利で役立つ情報が満載。

- HP／www.apti.net.jp/
- 問／青森県観光局新幹線交流推進課 ☎017-734-9384
  問／㈳青森県観光連盟☎017-722-5080

ようこそ青森へミニ観光案内所

ガソリンスタンドやドライブインがそのまま観光案内所に。目印は"右"の看板。困った時や迷った時に限らず、町のおすすめ情報や、観光・宿泊施設・飲食・イベントなど、何でも親切に教えてくれます。心強い味方の登場で「青森の旅」がますます楽しくなります。

- 問／㈳青森県観光連盟 ☎017-722-5080

ｉタウンページ

- HP／itp.ne.jp/

あおもり産品情報サイト

- HP／www.umai-aomori.jp/

青森県ホームページ

- HP／www.pref.aomori.lg.jp/

あおもり観光サーベイ

青森県内の観光施設・宿泊施設・飲食店や土産物品店を訪れた7,000件を超えるお客様の声を元に、実地調査を行い編集した"まるごとホンネの旅行ガイド"です。

- HP／www.surveyaomori.jp/voice

I Love 青森まるごと View

青森県の観光情報（祭り・四季・温泉・グルメ・遺跡）を中心に、旬の情報を県内22台の常設ライブカメラで発信する、年間約390万アクセスの人気観光情報サイト。ライブカメラによる青森ねぶた等の迫力ある映像は必見。英語・韓国語・中国語にも対応。

- HP／view.aomori.isp.ntt-east.co.jp

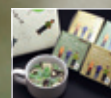
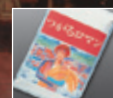
弘前総合情報サイト

便利な情報満載のモバイルサイト

情報検索システムの名前は「Ring-O」。観光版と地域版があります。観光版は、オススメ観光モデルコースからイベントや祭り、飲食店、宿泊の情報など、観光をサポートする便利情報満載の携帯サイト。観光名所の解説は、英語でも対応。また地域版では、天気や医療、交通、お店の情報などを検索できます。

- HP／www.ring-o.jp
- 問／弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
  弘前商工会議所情報企画室 ☎0172-33-4111

どっぷり浸かる、青森の冬。

2010年12月4日、いよいよ東北新幹線全線開業となります。冬の青森県の魅力をお伝えするため、「あったか青森、新幹線開業100日間プレゼントキャンペーン」を展開いたします。キャンペーン期間中、次の宿泊施設に宿泊し応募されますと抽選で、参加宿泊施設のペア宿泊券または青森の特産品が当たるお得なキャンペーンとなっております。たくさんのご応募、お待ちしております。

お問合せ先 青森県旅館ホテル生活衛生同業組合
TEL.017-777-3411　FAX.017-734-4631

青森県観光情報サイト アプティネット 検索
http://www.aptinet.jp/

青森県への交通・問い合わせ

JR

※上記所要時間等は、2010年12月4日以降のものです。
※乗り継ぎ時間は含まれておりません。
※このデータは2010年10月1日現在のものです。

JR東日本リゾート列車

●リゾートしらかみ号（秋田〜青森※途中停車駅省略）

- 1号：秋田 8:24発 → 青森 13:35着
- 2号：青森 8:21発 → 秋田 13:21着
- 5号：秋田 14:10発 → 青森 19:19着
- 4号：青森 13:54発 → 秋田 18:51着

■運転日／1・4号＝12月4日〜翌1月30日、2月4〜6・11〜13・18〜20・25〜27、3月4〜6・11〜13・18〜21・25〜27日運転。
2号＝12月4日〜翌1月30日、2月5・6・12・13・19・20・26・27日、3月5・6・12・13・19〜21・26・27日運転。
5号＝12月4日〜翌1月29日、2月4・5・11・12・18・19・25・26日、3月4・5・11・12・18〜20・25・26日運転。

●リゾートあすなろ津軽号（新青森〜青森〜蟹田）

- 1号：新青森 10:44発 → 蟹田 11:43着
- 2号：蟹田 12:19発 → 新青森 13:00着

●リゾートあすなろ下北号（新青森〜青森〜浅虫温泉〜野辺地〜陸奥横浜〜下北〜大湊）

- 1号：新青森 10:44発 → 大湊 12:43着
- 2号：大湊 13:00発 → 新青森 14:59着
- 3号：新青森 13:14発 → 大湊 15:02着
- 4号：大湊 15:50発 → 新青森 17:41着

■運転日／12月4日〜翌1月10日、1月13〜25・28〜30、2月4〜6・11〜13・18〜20・25〜27、3月4〜6・11〜13・18〜21・25〜27日運転。

※上記リゾート列車の運転日は変更になる場合がございます。最新の時刻表をご覧いただくか、駅係員にお問い合わせ下さい。
※上記の運行期間等の情報は、2010年10月1日現在のものです。ご利用の際は、駅係員に最新情報をお問い合わせ下さい。

■時刻、運賃、料金、空席情報のお問い合せ（6:00〜24:00）☎050-2016-1600
■その他のお問い合せ（6:00〜24:00）☎050-2016-1602
■英語・ハングル・中国語でのお問い合せ（年末年始を除く）JR EAST InfoLine（10:00〜18:00）☎050-2016-1603

高速バス

青森行き
- 東 京 → ラ・フォーレ号・津軽号（9時間30分）❶❷
- 上 野 → 青森上野号（10時間50分）❹ ※青森上野号は昼行便
- 上 野 → パンダ号（10時間20分）❹ ※パンダ号は夜行便
- 仙 台 → ブルーシティ号（4時間50分）❶❷❸
- 盛 岡 → あすなろ号（2時間45分）❶

弘前行き
- 東京品川 → ノクターン号（9時間15分）❹
- 上 野 → 青森上野号（9時間30分）❹ ※青森上野号は昼行便
- 上 野 → パンダ号（9時間）❹ ※パンダ号は夜行便
- 横 浜 → ノクターン号（9時間45分）❹
- 仙 台 → キャッスル号（4時間20分）❹
- 盛 岡 → ヨーデル号（2時間15分）❹

八戸行き
- 東 京 → ドリーム八戸・十和田（シリウス号）（9時間10分）❺❻
- 仙 台 → うみねこ号（4時間15分）❺❻
- 盛 岡 → 特急八盛号（2時間22分）❻

五所川原行き
- 東京品川 → ノクターン号（10時間15分）❹
- 横 浜 → ノクターン号（10時間45分）❹

十和田行き
- 東 京 → ドリーム八戸・十和田（シリウス号）（10時間10分）❺

❶弘南バス（青森）☎017-726-7575
❷JRバス（青森）☎017-723-1621 ※予約専用017-773-5722
❸十和田観光電鉄（青森）☎017-787-1558
❹弘南バス（弘前）☎0172-37-0022
❺十和田観光電鉄（八戸）☎0178-43-4521
❻南部バス ☎0178-24-1121

航空

❶JAL国内線予約・案内 ☎03-5460-0522
☎0570-025-071
❷大韓航空㈱青森支店 ☎017-732-3313

フェリーボート

- 函 館 → 青 森　3時間40分〜50分 ❶
- 函 館 → 大 間　1時間40分 ❷
- 苫小牧 → 八 戸　7時間〜9時間 ❸

❶津軽海峡フェリー㈱青森支店 ☎017-766-4733
函館支店 ☎0138-43-4545
❷津軽海峡フェリー㈱大間支店 ☎0175-37-3111
❸川崎近海汽船㈱ ☎0178-28-2018

高速道路

●主要都市からの距離

浦和IC —328km— 仙台宮城IC —179km— 盛岡IC —53km— 安代JCT —79km— 大鰐弘前IC —36km— 青森IC
安代JCT —69km— 八戸IC

●主要インターチェンジからの所要時間（時速80kmで算定）

東北自動車道：碇ヶ関IC —13km／10分— 大鰐弘前IC —9.9km／8分— 黒石IC —14km／10分— 浪岡IC —9.5km／7分— 青森IC（48.8km（37分））

青森自動車道：青森JCT —6.1km／5分(70km/h)— 青森中央IC —9.5km／8分(70km/h)— 青森東IC（15.6km（13分））

八戸自動車道：一戸IC —11.4km／8分— 九戸IC —10km／8分— 軽米IC —9.6km／8分— 南郷IC —10.3km／8分— 八戸IC（41.3km（32分））

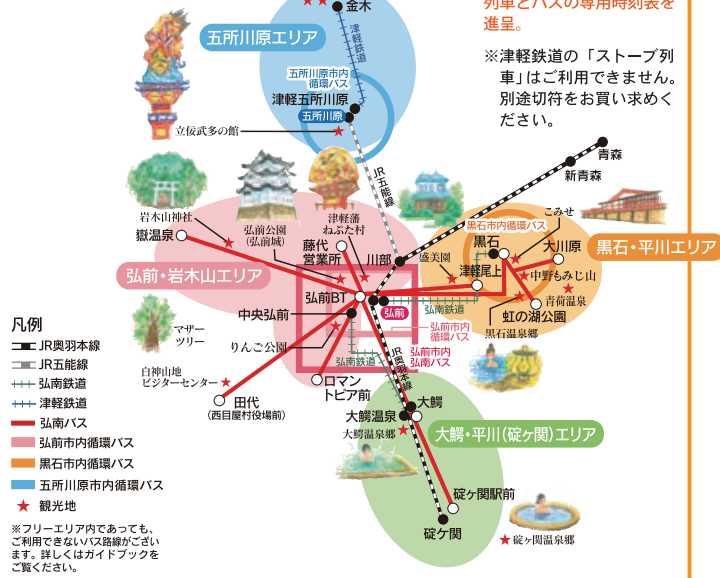
南郷IC —6.5km(八戸道)／5分(80km/h)— 八戸JCT —13.2km(八戸道)／11分(70km/h)— 八戸北IC —5.2km(百石道)／4分(70km/h)— 下田百石IC —9.7km(第2みちのく)／10分(60km/h)— 三沢・十和田・下田IC（34.6km（30分））

■東北道・八戸道など高速道路に関するお問い合せ／
NEXCO東日本お客様センター ☎0570-024-024（24時間オペレーターが対応）

青森県観光ボランティアガイド

名　称	場　所	概　要	実施期間	案内時間(申込方法)	料金(円)	電話番号
❶三内丸山応援隊	三内丸山遺跡	遺跡の解説、「縄文時遊館」の体験工房での学習指導等。	通年	一般予約不要・10名以上要予約	無料	017-766-8282
❷青い森ネイチャーガイド協会	八甲田山麓部中心	山麓のブナ林、湿原、高原や青森市の里山を楽しく案内。	4月〜10月	要予約	実費	017-764-1713
❸南八甲田ネイチャーガイドクラブ	黒石市近郊及び津軽一円	黒石市近郊の自然を紹介。	5月〜11月上旬	要予約	実費	0172-53-1414
❹青森観光コンベンション協会ねぶたガイド隊	ねぶたラッセランド	青森ねぶたの歴史や制作工程、祭の仕組みなど楽しく案内。	7月1日〜8月6日	協会へ予約か直接現地へ	無料	017-723-7211
❺観光コンシェルジェ　ワードナー	青森市内・近郊	青森市・弘前市や平川市尾上地区を案内。	通年	要予約	半日3,000〜	017-744-3912
❻幸畑墓苑ボランティアガイド協会	幸畑墓苑内	雪中行軍の歴史と、犠牲となった199名を埋葬している墓苑を案内。	4〜11月の土・日・祝日	10:00〜16:00、事前受付不要	無料	017-728-7063
❼浅虫温泉早朝散歩の会	浅虫地区4コース	早朝、約1時間かけて浅虫温泉の名所を散歩。（浅虫温泉宿泊者）	4月〜10月	予約不要・毎朝5:30〜(JR浅虫温泉駅前集合)	無料	017-752-3250
❽市民ガイド八戸協会	八戸市内名所・旧跡	国宝のある櫛引八幡宮や縄文・古墳遺跡、景勝地を案内。	通年	要予約(0178-45-5571瀬川宅)	半日3,000〜	0178-47-8870
❾八戸根城史跡ボランティアガイドグループ	史跡「根城の広場」	北奥羽の中心であった「根城」。復元物や史跡を案内。	通年	要予約	無料	0178-44-8111
❿縄文是川ボランティア（縄文是川応援隊）	縄文学習館・是川遺跡	遺跡の案内、体験学習の指導。	通年	要予約(八戸市縄文学習館)	無料	0178-96-1484
⓫種差海岸ボランティアガイドクラブ	種差海岸	葦毛崎から種差芝生地までを、草花を中心に案内。	3月〜11月	要予約	ガイド1人1,000	0178-39-3137
⓬弘前観光ボランティアガイドの会	弘前市内・近郊	お城と桜のまち、弘前を案内。	通年	要予約	無料	0172-35-3131
⓭岩木山サポートクラブ	岩木山周辺	岩木山登山やトレッキングに同行します。	通年	要予約	有料(要問合)	0172-83-2215
⓮こみせ観光ボランティアガイドの会	黒石市「こみせ」	津軽の商家の伝統的街並み「こみせ通り」等を案内。	4月下旬〜10月下旬	要予約	無料	0172-52-3488
⓯十三湊サポーターズガイド	市浦地域全域	十三湊を拠点に、国内外の交易で隆盛を極めた安倍安東氏の史跡を巡る。	4月〜10月	要予約	一部有料(要問合)	0173-38-1515
⓰十和田湖奥入瀬観光ボランティアの会	奥入瀬渓流	奥入瀬渓流石ヶ戸〜子ノ口を案内。	4月下旬〜11月中旬	要予約(利用申込書有)	6,000〜	0176-73-2521
⓱十和田湖自然ガイドクラブ	十和田湖休屋周辺	宿泊者を対象に、早朝の十和田湖・周辺を案内。	4月中旬〜11月初旬	予約不要・毎朝6:00〜(集合場所有)	無料	0176-75-2368
⓲十和田ボランティアガイドの会	十和田市内全域	新渡戸記念館や人工河川の稲生川、駒街道等、名所旧跡を案内。	4月〜12月	要予約	無料	0176-23-2455
⓳西目屋村観光ガイド会	白神山地内	ブナ林散策道・暗門の滝遊歩道・自然観察道の各コースを案内。	5月〜10月	要予約	12,000〜	0172-85-3021
⓴あじがさわ白神山地ガイド倶楽部	ミニ白神・赤石川	くろくまの滝等、赤石渓流を中心とする白神を多彩な会員が案内。	4月20日〜11月10日、2月	要予約	7,000〜	0173-79-2009
㉑深浦町観光ガイド風まち湊案内人	深浦町内	円覚寺をはじめ、貴重な文化財を見学しながら歴史と文化を紹介。	3月〜12月	前日まで要予約	2,300〜2,800	0173-74-3320
㉒岩崎自然ガイドクラブ	十二湖・白神山地	元マタギの会長、野鳥の会の専門家、白神岳登頂200回を越す専門家たちが案内。	通年	要予約	10,000〜	0173-77-3311
㉓七戸町文化ガイドの会	七戸町内	町の史跡・名所・施設を案内。	4月20日〜11月20日	要予約	無料	0176-62-9703
㉔日本一の菜の花サポーター	横浜町全域	開花中に、横浜町全域を対象に菜の花畑を案内。	5月(開花中)	要予約	無料	0175-78-2111
㉕下北自然ボランティアガイドクラブ	下北半島内	恐山・宇曽利山湖、陸奥湾、仏ヶ浦、薬研渓流、川内川渓谷などを案内	通年	9:00〜17:00、要予約	6,300〜	0175-42-2411

■通年であっても、基本的に年末年始は除かせて頂きます。（要問合）■ボランティアガイドを依頼する場合は、余裕をもってお申し込み下さい。■ガイド料金が無料と掲載されている場合でも交通費、入場料、昼食代等、実費についてはご負担を頂く場合もありますので、ご予約の際にお尋ね下さい。その他、詳細についても、それぞれの組織に、事前にご確認下さい。

八戸えんじょいカード フリーパス
八戸市内のJRやバスが
1日乗り放題
現地施設などでの特典付
観光施設・宿泊施設・飲食店・
お土産店などでの割引サービスなど
大人700円
小人350円
有効エリア
【JR線】……………… 八戸～種差海岸駅
【八戸市営バス】……… 全路線
【南部バス】………… 八戸市内全路線(南郷区の一部路線を除く)
八戸えんじょいカード引換券発売箇所
●JR東日本の主な駅のみどりの窓口
●びゅうプラザ八戸
八戸えんじょいカード引換箇所
●八戸駅●本八戸駅●陸奥湊駅●鮫駅
●びゅうプラザ八戸駅●三春屋インフォメーション
●ラピアトラベルカウンター
●八戸市内ホテル(4箇所)
●カード引換後の払い戻し、利用日の変更はできません。●カード利用エリア区間(鉄道・バス)及び特典が受けられる施設等についてはご利用ガイドマップをご覧下さい。●カード利用エリア区間外へ乗り越した場合の精算について/鉄道は、エリア区間外の運賃をお支払い下さい。バスは、カードが無効となりますので、乗車したところから下車したところまでの全区間の運賃をお支払い下さい。
●問/八戸カード運営協議会☎0178-46-4040 ●HP/ 8-bus.com/enjoycard.html
青森市
手ぶらで観光
手荷物直行便
青森駅前観光案内所から宿泊施設へ手荷物を配達。ゆっくりと観光を楽しみ宿泊先で手荷物を受け取ることができます。
●預け場所/青森市観光案内所(JR青森駅前)
●料金/大(キャリーバッグ)1個400円、小(ボストンバッグ)1個300円
※八甲田・浅虫地域は別料金となります。
●受付時間・配達時間/
8:45～10:00受付→12:00～14:00に配達
10:00～12:00受付→16:00迄に配達
12:00～15:00受付→18:00迄に配達
■問/青森観光コンベンション協会
☎017-723-7211
弘前市
弘前駅から
手ぶらで観光!
ホテル・旅館まで手荷物を配達します。弘前市観光案内所から弘前市内宿泊施設(一部地域を除く)へ手荷物を配達します。お客様は、ゆっくりと観光をお楽しみいただき、宿泊先で手荷物を受け取ることができます。
●預け場所/弘前市観光案内所(JR弘前駅内)
●料金/手荷物1個300円
●受付時間/ 8:45～14:00
●配達時間/宿泊施設には18:00までには届きます。
■受付時間/
■問/弘前市観光案内所(駅)
☎0172-26-3600
津軽フリーパス
津軽エリアの列車やバスが
2日間乗り放題
津軽の観光ポイントやお得な割引情報が満載のガイドブックとフリーエリア内の列車とバスの専用時刻表を進呈。
※津軽鉄道の「ストーブ列車」はご利用できません。別途切符をお買い求めください。
五所川原エリア
弘前・岩木山エリア
黒石・平川エリア
大鰐・平川(碇ヶ関)エリア
凡例
JR奥羽本線
JR五能線
弘南鉄道
津軽鉄道
弘南バス
弘前市内循環バス
黒石市内循環バス
五所川原市内循環バス
観光地
※フリーエリア内であっても、ご利用できないバス路線がございます。詳しくはガイドブックをご覧ください。
●料金/津軽フリーパス大人2,000円(子供1,000円)●発売期間/ 2010年12月4日～通年
●有効期間/2日間 ●お求め/フリーエリア内および秋田支社管内にあるJR東日本のみどりの窓口・びゅうプラザ、主な旅行会社(フリーエリアを着地に含むJR利用の旅行商品とセットでお求めになる場合は、その他エリアでもお求めいただけます。詳しくはホームページをご覧ください。HPアドレス/ www.tsugaru-freepass.jp/)
●お問い合せ/津軽フリーパス運営協議会(弘前市観光物産課内)
☎0172-35-1111(代)内線250(受付時間 9:00~17:00
※土・日・祝日を除く)
記載した道路は、工事や未舗装等により、悪路もあります。車で旅行する際は、事前に交通地図等で、道路状況をご確認下さい。
この地図は2010年9月現在の情報です。
2010年12月4日
東北新幹線
八戸～新青森間開業
陸奥湾
秋田県
岩手県
世界自然遺産「白神山地」
十和田湖
小川原湖
十三湖
主要国道
その他の道路
建設中の道路
高速道路
主要県道・幹線道路
有料道路

県内の交通・問い合わせ

観光バス

㈳青森県バス協会　017-739-0571　http://www.aomoribus.or.jp

民営鉄道

津軽五所川原～津軽中里	津軽鉄道㈱	0173-34-2148
弘前～黒石／中央弘前～大鰐	弘南鉄道㈱	0172-44-3136
三沢～十和田市	十和田観光電鉄㈱	0176-23-3131
八戸～目時	青い森鉄道㈱	0178-21-3131

有料道路

みちのく有料道路　青森市～七戸町	青森県道路公社
第2みちのく有料道路 六戸町～おいらせ町	017-777-7331
津軽岩木スカイライン	㈱岩木スカイライン
嶽温泉～岩木山八合目	0172-83-2314

ホテル・旅館

全旅連「宿ネット」　www.yadonet.ne.jp/
特殊法人青森県旅館ホテル生活衛生同業組合　017-777-3411

民宿

青森県民宿連合会　0172-48-5405　www.aominren.jp/

ユースホステル

青森県ユースホステル協会(カワヨグリーンYH内)0178-56-2756

ドライブイン

ドライブイン協会(十和田ドライブイン内)　0176-27-2622

レンタカー

青森県レンタカー協会　017-739-0560
www4.ocn.ne.jp/~aorekyo

ロープウェー

八甲田ロープウェー㈱　017-738-0343

観光案内所等

青森県観光総合案内所(アスパム内)	017-734-2500
青森空港総合案内所	017-739-2007
青森県観光局新幹線交流推進課	017-734-9384
青森県東京観光案内所	03-5276-1788
青森県物産振興協会東京店	03-3237-8371
青森県東京事務所(流通観光課)	03-5212-9113
青森県北海道情報センター(北東北三県北海道合同事務所)	011-241-2332
青森県大阪情報センター(北東北三県大阪合同事務所)	06-6341-2184
きた東北発見プラザ jengo(ジェンゴ)	06-6241-7144
青森県名古屋情報センター(北東北三県名古屋合同事務所)	052-251-2801
青森県福岡情報センター(北東北三県福岡合同事務所内)	092-736-1122
青森市観光案内所	017-723-4670
弘前市観光案内所(JR弘前駅)	0172-26-3600
弘前市立観光館	0172-37-5501
はちのへ総合観光プラザ	0178-27-4243
十和田湖総合案内所	0176-75-2425
五所川原市観光案内所(JR五所川原駅舎内)	0173-38-1515
むつ市観光案内所	0175-34-9095

遊覧船

便　名	運航期間	料金(円)	問合せ・備考
十和田湖湖上遊覧			遊覧船予約センター 0176-75-2909
Aコース／ 50分 休屋～中山半島～中湖～御倉半島～子ノ口	4月1日～11月23日	大人1,400(グリーン室500) 小人700(グリーン室250) ※8名以上団体割引有り。	
Bコース／ 50分 休屋～中山半島～中湖～休屋	4月1日～11月30日	大人1,200(グリーン室450) 小人600(グリーン室230)	
「夢の平成号」／ 120分 脇野沢～仏ヶ浦(探勝30分)～脇野沢	4月15日～10月14日 10:45、14:55	大人3.800・小人1,900 ※15名以上1割引(要問合)	むつ市脇野沢庁舎産業建設課0175-44-2111
高速観光船「ニューしもきた」／ 90分 佐井～仏ヶ浦(探勝30分)～佐井	4月25日～10月31日 9:00、10:30、13:00	大人2,300・小人1,150 ※臨時便対応可20名以上(4/1～11/10)	仏ヶ浦海上観光㈱ 0175-38-2244
高速観光船「サイライト」／ 90分 佐井～仏ヶ浦(探勝30分)～佐井	4月20日～10月31日 9:00、10:40、13:40	往復2,300(片道1,150) ※15名以上割引あり・臨時便対応可	佐井定期観光㈱ 0175-38-2255
八戸港観光遊覧船「はやぶさⅡ」／ 40分　蕪島～八戸港を周遊	4月12日～10月31日 11:00～14:00(1時間毎) 土・日・祝10:00～15:00(1時間毎)	大人1,200・小人600 ※15名以上割引(要問合)	㈲八戸通船 0178-33-3430
奇勝「権現崎」探勝／ 60分 漁船で小泊の海の景勝を巡ります	要問合	5,000(5名まで何人でも) 6人目より1名1,000	藤田金五郎 ☎0173-64-2160

フェリー・定期船

便　名	運航期間	料金(円)	問合せ・備考
フェリー「かもしか」／60分 津軽半島・外ヶ浜町蟹田～下北半島・むつ市脇野沢	4月21日～8月7、8月19日～11月5日は1日2往復 8月8～18日は1日3往復	大人1,420・小人710 (2等普通)※特別室、自動車航送賃は別。要予約	むつ湾フェリー㈱ 0174-22-3020 脇野沢営業所 0175-44-3371
高速旅客船「ポーラスター」 青森～脇野沢／55分	通年(1日2往復)	大人2,540・小人 1,270 (青森～脇野沢)	シィライン㈱ 017-722-4545 ※往復は復路運賃を1割引 15名以上1割引(要問合) 脇野沢営業所 0175-44-2233 佐井営業所　0175-38-2590
青森～脇野沢～牛滝～福浦～佐井／140分	通年(1日2往復)但し10/16～3/31は脇野沢～佐井間が1日1往復。	大人3,460・小人 1,730 (青森～佐井)	

「認定乗務員」がご案内／青森市観光ガイドタクシー

コース	料金(円)
①市内２時間コース	8,000円
Aコース／発～三内丸山遺跡～青森駅	
Bコース／発～ねぶたの里～アスパム～青森駅	
Cコース／発～郷土館～みちのく北方漁船博物館～八甲田丸～青森駅	
②市内３時間コース(料金:11,000円)	11,000円
Aコース／発～三内丸山遺跡～ねぶたの里～青森駅	
Bコース／発～郷土館～棟方志功ゆかりの地(生家・生育・就業の各跡地)～棟方志功記念館～みちのく北方漁船博物館～アスパム～八甲田丸～青森駅	
Cコース／発～郷土館～棟方志功ゆかりの地(生家・生育・就業の各跡地)～棟方志功記念館～文芸の小道～合浦公園～アスパム～八甲田丸～青森駅	
③５時間コース(料金:24,000円)	24,000円
Aコース／発～ねぶたの里～八甲田(萱野高原・ロープウェー・城ヶ倉大橋・酸ヶ湯温泉・すいれん沼・その他車窓)～田代平(雪中行軍遭難記念像)～八甲田山雪中行軍遭難資料館～青森駅	
Bコース／発～浅虫水族館～夏泊半島(大島・椿山・浅所)～夜越山森林公園～合浦公園～青森駅	
Cコース／発～弘前(弘前城・藤田記念庭園・最勝院・禅林三十三ヶ寺・長勝寺・明治の西欧建築)～アップルヒル～青森駅	
④９時間コース(料金:42,000円)	42,000円
Aコース／発～八甲田(萱野高原・ロープウェー・城ヶ倉大橋・酸ヶ湯温泉・すいれん沼・その他車窓)～蔦温泉～奥入瀬渓流(散策・車窓)～子ノ口(遊覧船)～休屋～田代平(雪中行軍遭難記念像)～八甲田山雪中行軍遭難資料館～青森駅	
Bコース／発～陸奥湾車窓～平舘～三厩(義経寺)～竜飛(青函トンネル記念館・ウィンドパーク)～竜泊ライン(車窓)～十三湖～ベンゼ湿原～金木(斜陽館・三味線会館)～青森駅	
Cコース／発～弘前(弘前城・津軽藩ねぶた村)～白神山地ビジターセンター～アクアグリーンビレッジANMON(暗門の滝)～アップルヒル～青森駅	

●出発地／青森駅、青森県観光物産館アスパム、市内中心街ホテル
●問合せ／青森市タクシー協会☎017-781-4015 ●HP／ www.atca.info/guidetaxi/
※このモデルコースには、移動時間と標準的な施設見学時間が含まれています。
※コース内の施設は休館する場合があります。※料金は小型タクシーの運賃です。
※観光タクシーは、周遊コースが原則です。※モデルコースの内容は、平成21年３月現在です。

浅虫温泉～青森空港／弘前～青森空港／相乗りジャンボタクシー

コース	運行期間	料金(円)	コース	運行期間	料金(円)
浅虫温泉⇒青森空港／ 50分	通年	2,500	弘前市内⇔青森空港／ 60分	通年	2,000

●問合せ・ご予約／一番タクシー 017-739-5500
●問合せ・ご予約／北星交通 0172-33-3333

路線バス／あおもりシャトルdeルートバス「ねぶたん号」

ルート	所要時間	便数
市街地巡回ルート		
新青森駅～森林博物館～古川～アウガ前～青森駅前～八甲田丸前～アスパム前～県立郷土館前～棟方志功記念館前～サンロード青森前～イトーヨーカドー青森店前～県立図書館前～三内丸山遺跡前～県立美術館前～新青森駅(途中停留所省略)	約90分	17便
※新青森駅から30分毎に左右両回りが交互に出発します		
フェリー乗り場経由ルート		
新青森駅～津軽海峡フェリーターミナル～青森駅	約20分	8便
※早朝3便がフェリー乗り場とのシャトル便残りは基本ルートへ接続します		

●上記ルート・所要時間・便数は2010年9月時点での予定となっています。変更になる場合があります。
●「市街地巡回ルート」は観光関連の停留所を記し、他は省略しています。
●運行期間／毎日運行(予定) ●時間／始発6:40、最終18:30(予定)
●料金／一日乗車:一般500円、一回乗車:一般200円(予定)
●問／青森観光バス☎017-739-9384 ●HP／ www.aomori-kanko-bus.co.jp/

路線バス／青森・八戸～十和田湖

便名／コース	運行期間	料金(円)
みずうみ号(青森～十和田湖)／青森駅～八甲田山～奥入瀬渓流～十和田湖	12月1日～3月31日 ※詳細要問合	3,000円(片道)
おいらせ号(八戸～十和田湖)／八戸駅～六戸町～十和田市現代美術館～奥入瀬ろまんパーク～奥入瀬渓流～十和田湖		2,600円(片道)

●問合せ／ JRバス東北㈱青森支店 017-723-1621 FAX.017-773-3602　www.jrbustohoku.co.jp

観光タクシー(南部地方／八戸駅・市内中心部発)

コース	所要時間	料金(円)小型／中型
八戸市Aコース／歴史と遺跡めぐり	2時間	小 8,000中　9,000
八戸市Bコース／蕪島と種差海岸めぐり	2時間	小 8,000中　9,000
八戸市Cコース／歴史・史跡と八戸食彩めぐり	3時間	小11,000 中12,000
八戸市Dコース／蕪島・種差海岸と八戸食彩めぐり	3時間	小11,000 中12,000
義経北方伝説コース	3時間	小11,000 中12,000
八戸市Eコース／歴史と史跡、縄文遺産めぐり	4時間	小15,000 中17,000
八戸市Fコース／八戸食彩と海浜自然めぐり	4時間	小15,000 中17,000
八戸市Gコース／歴史と自然、八戸ひとめぐり	5時間	小18,000 中20,000
十和田湖片道コース／奥入瀬渓流と神秘のカルデラ湖めぐり(休屋着)	5時間	小24,000 中27,000
三戸コース／南部の歴史と自然満喫めぐり	6時間	小28,000 中32,000
北三陸コース／北リアス式海岸の大自然と神秘の琥珀めぐり(久慈着)	6時間	小28,000 中32,000
十和田湖往復コース／奥入瀬渓流と神秘のカルデラ湖めぐり	8時間	小38,000 中44,000
下北コース／原燃と北の最果て、旅情めぐり(薬研温泉着)	8時間	小38,000 中44,000

●施設利用料金・観光船料金・昼食料金等は含まれません。
●全コース、小型・中型車の料金設定です。他に大型・特定大型車があります。※料金要問合
●八戸市内観光は、身障者割引があります。(1割引)
●問合せ／八戸市タクシー協会(三八五交通株式会社内) 0178-24-3335 FAX.0178-44-3529

観光タクシー(津軽地方)

コース	所要時間	料金(円)小型／中型
⑨弘前市内観光コース／りんご公園や長勝寺、津軽藩ねぶた村、他	3時間	小13,440 中15,600
⑩岩木山コース／岩木山神社や高照神社、岩木山山頂駅(弘前着)	3時間30分	小15,680 中18,200
⑪白神山地コース／ビジターセンターや暗門の滝(散策)、白神ライン(弘前着)	9時間	小40.320 中46.800
⑫縄文の里コース／斜陽館、十三湖、木造などの史跡・資料館、津軽富士見湖、他	8時間	小39,680 中46,080
⑬関所とお湯の旅コース／黒石～大鰐～碇ヶ関の名所・景勝地と温泉	6時間	小29,760 中34,560
⑭津軽こけしコース／こみせやりんご試験場、黒石周辺の名所と体験	2時間30分	小12,400 中14,400

●⑨～⑪の問合せ／青森県タクシー協会弘前支部 0172-27-7778 FAX.0172-28-1238
●⑫～⑭の問合せ／黒石タクシー 0172-52-3101 FAX.0172-52-5555
●各社・協会とも他にも様々なコースを用意しています。気軽にお問い合わせ下さい。
※なお、お問い合わせ先は電話照会の窓口となっております。別途、タクシー会社に予約が必要となる場合がありますので、予めご了承下さい。

観光タクシー(下北地方／むつ市発)

コース	所要時間	料金(円:小型)
恐山コース／恐山～薬研温泉(渓流)	2時間30分	12,000
大間・仏ヶ浦コース／恐山～薬研温泉～下風呂～大間崎～佐井・仏ヶ浦遊覧～むつ	7時間30分	38,000
脇野沢・仏ヶ浦コース／脇野沢野猿公苑～仏ヶ浦～佐井～大間崎～恐山～むつ	7時間30分	38,000

●料金は概算となります。●施設利用料金・観光船料金・昼食料金等は含まれません。
●恐山は11月上旬～4月下旬まで入山できません。※その他、11のコースを用意しています。
●問合せ／むつ市ハイヤー協会 0175-22-0401(FAX兼用)

「リゾートしらかみ」（青池HB編成）（イメージ）

「リゾートあすなろ」（イメージ）

デザインコンセプト

●エクステリア

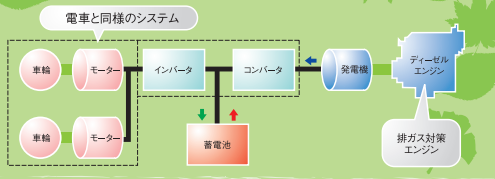
青池編成（現行）の外観デザインを踏襲。日本海の水平線をイメージした「濃い青色」と、十二湖の神秘的な青池の「明るい青色」という青を基調にした色彩です。濃淡の青とハイブリッド車両の銀色が調和した環境に優しい車両イメージを表現しています。

●インテリア

列車の旅を存分に楽しんでいただける様々な工夫にあふれています。明るい雰囲気の中にも落ち着ける空間を目指しました。室内全体をオフホワイトでまとめ、壁面や荷物棚上部は木目調、床はコルク調で素材感を出しています。

ハイブリッドシステムとは

ハイブリッドシステムとは、ディーゼルエンジンとリチウムイオン蓄電池を組み合わせ、駆動力に電気モーターを使用します。発車時は蓄電池充電電力を使用し、加速時はディーゼルエンジンが動作して発電機を動かし、蓄電池電力と合わせてモーターを回転させます。減速時はモーターを発電機として利用し、ブレーキエネルギーを電気に変換して蓄電池に充電するシステムです。

燃料消費率の低減や排気中の窒素酸化物（NOx）などの低減が見込まれるほか、駅停車時及び発車時の騒音も低減できる見込みです。

愛称名「あすなろ」

リゾートあすなろが運行する青森県の津軽半島と下北半島はいずれも豊かな自然にあふれ、県木である「青森ヒバ」が多く分布しています。この「青森ヒバ」はヒノキ科アスナロ属に属しており、別名「あすなろ」と呼ばれています。「あすなろ」は漢字で「翌檜」または「明日檜」※と表記され、明日は檜になろうという明日への希望をイメージさせる言葉として使われており、新幹線の延伸により新しい明日を築くであろう青森にデビューする新型車両にぴったりの名称です。※一般的には「翌檜」、別名「明日檜」

デザインコンセプト

リゾートあすなろの車両のコンセプトカラーは目にもまぶしい３色。夏の時期に一気に盛り上がるお祭りの熱気を表す「赤」。下北半島に咲き誇る日本最大級の菜の花畑を表す「黄」。赤と黄色が車両の中央で交じり合う様子は、２つの動力源を使用するハイブリッドを表現しています。また、最も美しい景色が望めるであろう展望室の窓周辺は青森県の豊かな森をイメージした「緑」のデザインとし豊かな自然との一体感を表現しています。

●掲載の情報は、平成22年10月1日現在のものです。記載内容が変更になる場合がございます。写真は全てイメージです。

発行／社団法人青森県観光連盟 TEL.017-722-5080 FAX.017-722-5081
青森県観光情報ホームページ（アプティ・ネット）http://www.aptinet.jp/